

2018

ブライダル科 シラバス



学校法人京都中央学院

YIC京都ビューティ専門学校

シラバスとは

シラバスとは講義概要であり授業全体の計画書のことです。授業の目標・内容・参考図書・成績評価の方法などが記され、皆さんが授業内や授業外で学修を行うための指針を示すものです。

教員は、この指針に従って授業を行うこととなります。したがってシラバスは授業計画を学生と教員との間で共有する、「契約書」に近い位置づけのものです。シラバスに記載された目標を達成するために、教員は授業を通して学生である皆さんに知識と技術を習得させる義務を負います。逆に皆さんは授業に出席する義務を負うこととなります。

また広い意味では、本校が地域社会に対して本校の教育の質を担保するものでもあります。

実際に授業が行われるにあたって、学生や教員があらかじめ準備したり、従うべき事項等を共有する文書となります。授業で行われる内容があらかじめ記載されていますので、学生は授業に臨む際に前もって準備を行うことができますし、記載されている評価方法に向けての学修などを行うこともできます。

シラバスを作成する過程で、教員が自らの行う授業の内容、評価方法などの具体的構造を見直すことができ、自分の授業を見直す良い機会になります。

皆さんは、このシラバスを活用して、悔いのない学生生活を送っていただくようお願いします。

ブライダル科 教育課程

区分		履修科目名	1年		2年		合計			
			単位	時間	単位	時間	単位	時間		
必須科目	ブライダル分野	講義	ブライダルコスチュームⅠ	1	30			1	30	
			ブライダルコスチュームⅡ	1	30			1	30	
			ブライダル概論	1	30			1	30	
			フードコーディネイト概論			1	30	1	30	
			ブライダル企業研究	1	30			1	30	
			BIA検定Ⅰ	1	30			1	30	
			BIA検定Ⅱ	1	30			1	30	
			BIA検定Ⅲ			1	30	1	30	
			BIA検定Ⅳ			1	30	1	30	
			ABC検定Ⅰ	1	30			1	30	
			ABC検定Ⅱ			1	30	1	30	
			実習	イベントプロデュースⅠ	4	120			4	120
				イベントプロデュースⅡ			4	120	4	120
	レストランサービス				1	30	1	30		
	フラワーコーディネイトⅠ	1		30			1	30		
	演出クリエイティブ	1		30			1	30		
	インターンシップⅠ	2		60			2	60		
	インターンシップⅡ	2		60			2	60		
	ビジネス分野	講義	ビジネススキルアップⅠ	1	30			1	30	
			ビジネススキルアップⅡ			1	30	1	30	
			ビジネススキルアップⅢ	1	30			1	30	
			ビジネススキルアップⅣ			1	30	1	30	
			サービス接遇Ⅰ	1	30			1	30	
			サービス接遇Ⅱ	1	30			1	30	
			プレゼンテーション・ディベート学	1	30			1	30	
			マナープロトコル			1	30	1	30	
		セールスプロモーション			1	30	1	30		
		実習	基本IT技術Ⅰ	1	30			1	30	
	基本IT技術Ⅱ		1	30			1	30		
	トータルビューティ分野	講義	トータルビューティ基礎学Ⅰ	1	30			1	30	
			色彩学	1	30			1	30	
実習		ブライズメイクヘア			1	30	1	30		
		着付け・作法	2	60			2	60		
		メイクアップ基礎	2	60			2	60		
		ネイル基礎			3	90	3	90		
		ヘアアレンジⅠ	1	30			1	30		
(必須)			31	930	17	510	48	1,440		
選択科目	ビジネス分野	講義	ビジネス基礎学	1	30			1	30	
			ビジネス電話応対			1	30	1	30	
			ブライダルサロン	2	60			2	60	
			サロン運営			2	60	2	60	
			キャリアデザイン			1	30	1	30	
	実習	フィニッシング	1	30			1	30		
	ビューティ分野	実習	メイクセラピー	2	60			2	60	
			ブライズエステ	2	60			2	60	
			ブライダルアロマ			1	30	1	30	
	ブライダル分野	講義 実習 研修	ブライダル映像基礎			1	30	1	30	
			イラスト・デッサン			1	30	1	30	
			ブライダル広告研究	1	30			1	30	
			フラワーコーディネイトⅡ			1	30	1	30	
			実務研修			2	60	2	60	
ウェディングプランナー演習					1	30	1	30		
選択科目計(選択)			9	270	11	330	20	600		
総計(必須+選択)			40	1,200	28	840	68	2,040		

※卒業の要件: 必須科目 48単位(1,440時間)以上 および選択科目16単位(480時間)単位以上 計64単位(1,920時間)以上の履修

※単位: 90分×15週の座学(授業)または実習をもって1単位とする。ただし校外実習などこれによりがたい場合は別途決定する

※科目履修(単位)認定の要件: 80%以上の出席 および 期末試験 60点以上

平成30年度 シラバス

科目名	ブライダルコスチューム I		担当者	岡本	学科	ブライダル科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	1	曜日	火曜
	ブライダル分野(講義)		(時間)	15			時限	4
授業の概要	衣装の歴史、ドレスコード、シルエットの名称とその似合う体型を学び、ドレスなどの扱い方を修得							
学習目的	衣裳はブライダル業界において収益面も含め大きなウエイトを占める。ドレススタイリストの資格も取得し就職先で即戦力となれることを目指す。							
学習目標	衣装の扱い方、着せ方などを修得し、スタイリストとして必要な技術を身につける							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	男性の洋装		メンズフォーマルのサイズ展開と採寸					
第2回	ウエディングドレス		主なシルエット・構造・スリーブ					
第3回	ウエディングドレス・小物		ドレスのサイズ展開と採寸・小物の合わせ方					
第4回	ウエディングドレスのスタイリング		素材やヘッドドレスなどとのマッチングについても学習する				確認問題	
第5回	新婦の和装・種類		和装・小物の名称を覚える					
第6回	新婦の和装・種類		刺繍や織りなどの名称を理解する。				確認問題	
第7回	ドレスの扱い方		ドレスをお客様に着せるマナーなど					
第8回	ベール・パニエの扱い方 実習		ベール・パニエの扱い方や種類の習得					
第9回	和装のたたみ方		和装の扱い					
第10回	小物の扱い方		小物の扱い					
第11回	花嫁様のアattend方法		介添えの基礎					
第12回	衣装の補正方法							
第13回	衣装コーディネート		新郎新婦の衣装のバランスなどを考える					
第14回	衣装コーディネート		新郎新婦の衣装のバランスなどを考える					
第15回	参列者様の衣装の種類		留めそで・モーニングのきまりなど					
教科書	ABC検定テキスト 資料配布							
参考書								
成績評価	単位認定 期末試験(70%) ドレスフィッティング実技30%							
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)							
オフィス・アワー	授業終了後							

平成30年度 シラバス

科目名	ブライダルコスチュームⅡ	担当者	岡澤	学科	ブライダル科	開講期	後期
区分	必須科目	単位	1	学年	1	曜日	月
	ブライダル分野(講義)	(時間)	15			時限	2
授業の概要	コスチューム検定の対策授業。主に衣装のTPO/和装の名称/素材の名称などを修得						
学習目的	ドレススタイリスト検定合格と、実際のスタイリストになった際のコーディネート提案が出来る						
学習目標	衣装全般の名称・TPO・ドレスの素材などを修得し、お客様へ体型カバーの衣装提案までできるようになる						
授業計画							
回	主題	授業内容				備考	
第1回	ドレススタイリストの仕事	実際の仕事内容など					
第2回	和装の絵柄など	新婦の和装について学ぶ・白無垢・色打掛					
第3回	和装のきまりなど	新郎・新婦の和装の歴史やきまり					
第4回	ドレスの袖・ラインなど名称	袖やラインなどの語句を理解し、意味も知る					
第5回	レースの種類・ドレス生地について	レースの生地や衣装の生地について					
第6回	似合うドレスのスタイル	体型とドレスの関係					
第7回	衣装室の歴史や現在の状況など	衣装室の変遷や現在ドレスショップが抱える課題など					
第8回	ブライダル市場	過去スタイリスト検定から出題されたブライダル概要					
第9回	ブライダル市場	過去スタイリスト検定から出題されたブライダル概要					
第10回	ブライダル市場	過去スタイリスト検定から出題されたブライダル概要					
第11回	スタイリスト検定過去問	過去問題と対策授業					
第12回	スタイリスト検定過去問	過去問題と対策授業					
第13回	スタイリスト検定過去問	過去問題と対策授業					
第14回	スタイリスト検定答え合わせ	検定の振り返り					
第15回	スタイリスト検定最終振り返り	期末試験					
教科書	ABC協会テキスト						
参考書	過去問						
成績評価	単位認定 スタイリスト検定合格または期末試験60点以上						
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)						
オフィス・アワー	授業終了後						

科目名	ブライダル概論		担当者	岡本	学科	ブライダル科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	1年	曜日	火曜
	ブライダル分野(講義)		(時間)	15			時限	3限
授業の概要	現代の日本におけるブライダル事情の概要を知り、ブライダルとは何か?どんな意味・意義があるのか?そこに従事する人間としてのモラルなどを学ぶ。							
学習目的	社会人としての一般常識として冠婚葬祭の知識を身につけ、人生の通過儀礼を滞りなく実行でき、業界で働くためのモラルを身につける							
学習目標	一般知識としてのブライダルに関する基本的な事柄について理解していること目安としてプランナー検定3級問題の合格。ブライダル関連に興味を持ち意欲的に行動できるようになる。サービスマナーについても学習し日常生活の中で身につけるように心がける。							
授業計画								
回	主題		授業内容			備考		
第1回	ガイダンス		人はなぜ結婚するのでしょうか?一般知識として感情面や数値的な見地から調べてみよう。意見を出し合いまとめる			DVDゼグシニユース		
第2回	祝賀サービスの基本マナー		サービスの基本姿勢・動作・言葉使い等を習得する(お祝いの言葉・忌言葉)					
第3回	六輝について(冠婚葬祭って何?)		本日はお日柄もよく...って何のこと?結納などについても学習する					
第4回	現在のブライダルセレモニーの形態		一般的なブライダルセレモニーの流れを知ろう			ビデオ試写(キリスト教式)		
第5回	お二人の門出を祝福		二人の要望やイメージしている結婚式の形を知るにはどうすればよいのか...イメージの統一の大切さを知る。エクソサイズの実施:二人一組でインタビュー					
第6回	ビューティ関連との関わり(ドレス)		花嫁の夢をかなえる!最良の日を作る...3回にわたって学習する ドレス選び					
第7回	ビューティ関連との関わり(ヘアメイク等)		2回目は花嫁のヘアやパーツにも触れる。					
第8回	キリスト教結婚式		様々な形の結婚式について学ぶ。神前式・仏式・キリスト教式・人前式等					
第9回	ビューティ関連との関わり(ブライズエステ)		晴れの日に最高に輝くために					
第10回	のしについて・神前式		のしとは何か?どんな意味があるのか?神前式の基本的な流れを学習。京都における神前式のあり方					
第11回	和装について		衣裳について学習する。男性の紋服・女性の内かけ					
第12回	披露宴コーディネイト(席次)		席次の重要性について理解する。適切な案内ができる。応接間・和室での席次においての実習を実施。円卓・流しテーブルの席次が問題用紙に正しく記入できる			確認問題		
第13回	結婚に関わる法律と人生の通過儀礼について		結婚すると手続きは...は法的にはどのような事が起こるのか。また一般教養として通過儀礼についても学習する。					
第14回	まとめ演習		これまで学習したことを一枚にまとめて発表(展示)					
第15回	試験		前期試験					
教科書	決定版 冠婚葬祭マナー事典							
参考書	ゼグシィ・レイウエディング等 講師にて必要に応じて準備							
成績評価	単位認定 60 点以上 試験70%・レポート・確認問題・課題制作物・20%・出席率10%							
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)							
オフィス・アワー	授業終了後							

科目名	フードコーディネーター概論		担当者	中谷	学科	ブライダル科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	2年	曜日	月
	ブライダル分野(講義)		(時間)	15時間			時限	1
授業の概要	フードコーディネーター教本をもとに料理サービスの基本を学習する。食の文化や科学・衛生及びテーブルコーディネートやマナー・サービスの方法へと学習内容を広げていく。更に販売促進に一環として経営やメニュープランニングについても調査していく。							
学習目的	ブライダル業界における食の重要性を理解し企画・提案できる。快適な空間をテーブルコーディネートなどを考慮して作り出すことができる。							
学習目標								
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	食文化について		日本・中国・西洋料理の特徴が理解できる					
第2回	食品・食材の知識		肉・魚・豆類・野菜・きのこ・海藻について					
第3回	穀物・乳製品他		乳・穀物・酒(ドリンク)調味料・加工品について					
第4回	調理方法		調理の基本の解説					
第5回	器具		様々な器具の名称				確認問題	
第6回	厨房機器		厨房のシステムと形態・食器洗浄・洗剤の基本					
第7回	栄養素について		栄養素の働き・6つの食品群					
第8回	食の安全		微生物と食中毒					
第9回	衛生対策		腐敗・品質表示制度について。食物アレルギー				確認問題	
第10回	復習		第2回～第9回までの復習を実施し知識の定着を図る。					
第11回	食空間の作り方		テーブルコーディネートの基本的理論・洋食のコーディネートについて					
第12回	食空間の構成とマナーについて		和食・中国料理 それぞれのテーブルコーディネートについて					
第13回	テーブルマナーとサービス		テーブル・サービスマナー・プロトコール・席次について				確認問題	
第14回	メニュープランニングと食の企画・演出		メニュープランニングの方法・企画立案のコツ					
第15回	総まとめ		第1回～14回までを振り返り知識の再確認を行う					
教科書	フードコーディネーター教本							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 期末試験60点以上							
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)							
オフィス・アワー	授業終了後							

科目名	ブライダル企業研究		担当者		キャリア		学科	ブライダル科	開講期		前期	
区分	必須科目		単位	1	学年	1年	学期	1年	曜日	水	時限	2
	ブライダル分野(講義)		(時間)	15時間								
授業の概要	婚礼会場はどの様なところがあるのか。そこではどのような仕事があるのか。関連業種は？などについて調べる。9月のインターシップリテラシーも取り組んでいる。ブライダル業界をプレ・当日・新生活部分に分けてさまざまな角度から検討を深める。											
学習目的	ブライダル業界を調べることによって業界内のさまざまな職種を知る。またそこで求められる人物像、知識などを各自が明確にイメージすることによって学習意欲を高める。最終的には自身の就職先を絞っていき、春休み以降の就職活動にスムーズに移行できるようにする。											
学習目標	プランナーにとられることなく様々な業種を知り就職先の幅を広げる。具体的な就職希望先の条件・職種などを絞り込み 10社程度あげる。											
授 業 計 画												
回	主 題		授 業 内 容						備 考			
第1回	ガイダンス		マーケティングの必要性を理解する。						HR教室 入退室マナー			
第2回	ブライダル業界調査Ⅰ(グループワーク)		どのような仕事があるのだろうか。多面的に探ってみる。(グループワーク)						HR教室 入退室マナー			
第3回	ブライダル業界調査Ⅱ(ワーク)		前回研究した業界の中で特に気になった所を更に深めて調べてまとめる。メモの取り方やまとめ方についても学習する。									
第4回	ブライダル業界調査Ⅲ(ワーク)		プレゼンテーションについて「AIDMA」の法則を理解する 発表用資料作成(各自作業)									
第5回	ブライダル業界調査 発表		各自が調べた業界調査を発表し情報を共有する。									
第6回	マトリクスを使って自分に合う仕事を見つける		業界と業種を縦軸と横軸にとって図式化してみる。									
第7回	業界内のプレの部分について考査①		もしも自分が〇〇業界の〇〇の仕事をするようになったら・・・ ケース1ジュエリーショップ。									
第8回	業界内のプレの部分について考査②→発表		ケース2:プレの中のお見合い事業や結納関連の職種の現在は、そして未来は・・・あなたがもしもその職種についたら何をしたいか。									
第9回	業界内の「当日に関わる」部分についての考査①		会場にはどんな職種があるか。その職種に就いた場合の給与や労働条件などを調べてみよう									
第10回	業界内の「当日に関わる」部分についての考査②		前回の求人票をもって互いに情報交換する。経済面からみて今後の世の中の情勢からみてどうか。また個人レベルでとらえるとどのような問題点があるかなど									
第11回	業界内の「当日に関わる」部分についての考査③		前回の問題点を加味して再度検索し調べてみる。視点を変えると見えてくるものを浮き彫りにする。									
第12回	業界内の新生活部分についての考査		ハネムーン関連・新生活関連・マンション購入?これら新生活関連業種にはどのようなものがあるのか。検索してみる									
第13回	インターンシップについて		インターンシップ先での働き方やマナーについて									
第14回	インターンシップについて		インターンシップ先での働き方やマナーについて									
第15回	まとめとインターンに向けての心構え		これまでのまとめとその業界に求められる人物像などについて学ぶ。インターシップリテラシーの学習。お礼状準備。									
教科書	就活ナビノート											
参考書	HP・経済誌・新聞・四季報・業界地図など											
成績評価	単位認定 60 点以上 エントリーシート(ブライダル業界)2枚以上提出											
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)											
オフィス・アワー												

科目名	BIA検定 I		担当者	岡澤	学科	ブライダル科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	1	曜日	水
	ブライダル分野(講義)		(時間)	時間			時限	2
授業の概要	BIA検定対策授業。ブライダルの定義(1章)から、ブライダル業界(第2章)についてを学ぶ							
学習目的	アシスタントブライダルコーディネーター検定の対策だけでなく、ブライダル業界やブライダルの定義について理解が出来る。							
学習目標	ブライダルの歴史、欧米との違い、市場の現状と業界の歴史と動向。 ブライダル関連企業の動向やブライダル業界の将来性を自ら説明できる							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	オリエンテーション		検定の趣旨・特徴・受験の手続きなど案内					
第2回	第1章ブライダルとは		ブライダルの定義と歴史・慣習(欧米・日本)					
第3回	第1章ブライダルとは							
第4回	第1章ブライダルとは		欧米と日本の違い					
第5回	第1章ブライダルとは		ブライダル市場のボリューム					
第6回	第1章ブライダルとは		婚約について・挙式披露宴について、婚礼2次会、新婚旅行					
第7回	第1章ブライダルとは		新生活準備、結婚費用の捻出方法					
第8回	第2章ブライダル業界とは		ブライダル業界の変遷と動向(歴史・ホテル)					
第9回	第2章ブライダル業界とは		ブライダル業界の変遷と動向(旅館・専門式場)					
第10回	第2章ブライダル業界とは		ブライダル業界の変遷と動向(神社・仏閣・教会)					
第11回	第2章ブライダル業界とは		ブライダル関連業界の動向(結婚相談所、式場案内所)					
第12回	第2章ブライダル業界とは		ブライダル関連業界の動向(プロデュース企業・貸衣装室・旅行会社・結婚情報誌)					
第13回								
第14回	ブライダル業界の課題と将来性		少子高齢化・ライフスタイルの変遷・ブライダルニーズ・国際化・情報化					
第15回	1章・2章の振り返り		BIAテキストの1、2章を振り返り、出題傾向をつかみ、過去問を行う。					
教科書	BIA アシスタントブライダルコーディネーターABC検定テキスト							
参考書								
成績評価	単位認定	アシスタントブライダルコーディネーター過去問から期末試験を行い、総合評価60点以上						
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)							
オフィス・アワー								

科目名	BIA検定Ⅱ		担当者	岡澤	学科	ブライダル科	開講期	後期
区分	必須科目		単位	1	学年	1	曜日	月
	ブライダル分野(講義)		(時間)	時間			時限	3
授業の概要	BIA検定対策授業。ブライダルの定義(第3章)から、ブライダル業界(第4章)、第5章についてを学ぶ							
学習目的	アシスタントブライダルコーディネーター検定の対策だけでなく、ブライダル業界やブライダルの定義について理解が出来る。							
学習目標	ブライダルサービス全般と、見合い・婚約・結納について理解し、人に説明が出来るレベルになる							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	第3章ブライダルサービスとは		ブライダルサービスの定義。 ホテルにおけるブライダル部門の役割					
第2回	第3章ブライダルサービスとは		ブライダルサービスの留意点。予約受付業務					
第3回	第3章ブライダルサービスとは		婚見積書について、打ち合わせ、発注業務。					
第4回	第3章ブライダルサービスとは		婚見スケジュール表、婚見セールスとは？					
第5回	第3章ブライダルサービスとは		婚見サービスの中身を覚え、その手配などを知る					
第6回	第4章見合い・婚約・結納		お見合いとは？見合いの形態、見合いのサービス留意点					
第7回	第4章見合い・婚約・結納		婚約・結納について。結納品の目録、家族書など。					
第8回	第4章見合い・婚約・結納		結納席次、結納進め方の実際、結納マナー					
第9回	第4章見合い・婚約・結納		基本的な結納式の手順					
第10回	第5章 挙式と披露宴		挙式とは何か？形式、4つの挙式スタイル、					
第11回	第5章 挙式と披露宴		キリスト式 式次第とその特徴					
第12回	第5章 挙式と披露宴		神前式 式次第とその特徴					
第13回	第5章 挙式と披露宴		仏前式 式次第とその特徴					
第14回	第5章 挙式と披露宴		人前式 式次第とその特徴					
第15回	3章から5章までの振り返り		過去問題から振り返りを行い、模擬試験					
教科書	ABC検定テキスト							
参考書								
成績評価	単位認定 期末試験にて70点、提出物30点 合計100点の70%以上							
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)							
オフィス・アワー	授業終了後							

平成30年度 シラバス

科目名	BIA検定Ⅲ		担当者		学科	ブライダル科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	2	曜日	
	ブライダル分野(講義)		(時間)	時間			時限	
授業の概要	BIA検定対策授業。テキスト第5章から、第6章、第5章についてを学ぶ							
学習目的	アシスタントブライダルコーディネーター検定の対策だけでなく、ブライダル業界やブライダルの定義について理解が出来る。							
学習目標	披露宴の流れが理解でき、演出、オリジナルウエディング、介添えの意味などが理解できており、説明が出来るレベル							
授業計画								
回	主題	授業内容					備考	
第1回	第5章挙式と披露宴	披露宴とは？						
第2回	第5章挙式と披露宴	披露宴サービスの進行とサービス方法						
第3回	第5章挙式と披露宴	披露宴サービスの進行とサービス方法						
第4回	第5章挙式と披露宴	披露宴サービスの進行とサービス方法						
第5回	第5章挙式と披露宴	オリジナルウエディングとは						
第6回	第5章挙式と披露宴	挙式披露宴の介添え留意点						
第7回	第6章ブライダルサービス	テーブルセッティングの種類や決まりを学ぶ						
第8回	第6章ブライダルサービス	卓上セッティングを学ぶ、料理メニューや飲料の基本知識を覚える						
第9回	第6章ブライダルサービス	和食、中華、料飲サービスの基本とサービスの実際を学ぶ						
第10回	第7章付帯サービス	照明・音響・衣装・美容・着付けのサービスの流れや、形態を学ぶ						
第11回	第7章付帯サービス	写真・ビデオ・引き出物の準備方法、発注の流れを知る						
第12回	第7章付帯サービス	装花の種類とブーケの実際を学ぶ						
第13回	ABC検定テキスト過去問題	過去問題から振り返りを行い、模擬試験						
第14回	ABC検定テキスト過去問題	過去問題から振り返りを行い、模擬試験						
第15回	ABC検定テキスト過去問題	過去問題から振り返りを行い、模擬試験						
教科書	ABC検定テキスト							
参考書								
成績評価	単位認定	期末試験にて70点、過去問題試験30点 合計100点の70%以上						
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)							
オフィス・アワー	授業終了後							

平成30年度 シラバス

科目名	BIA検定Ⅳ	担当者		学科	ブライダル科	開講期	後期
区分	必須科目	単位	1	学年	2	曜日	
	ブライダル分野(講義)	(時間)	時間			時限	
授業の概要	BIA検定対策授業。テキスト第1～7章までの振り返りと毎回の模擬試験						
学習目的	アシスタントブライダルコーディネーター検定の対策だけでなく、ブライダル業界やブライダルの定義について理解が出来る。						
学習目標	披露宴の流れが理解でき、演出、オリジナルウエディング、介添えの意味などが理解できており、説明が出来るレベル						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	ABC検定テキスト過去問題	過去問題から振り返りを行い、模擬試験→振り返りとポイント解説					
第2回	ABC検定テキスト過去問題	過去問題から振り返りを行い、模擬試験→振り返りとポイント解説					
第3回	ABC検定テキスト過去問題	過去問題から振り返りを行い、模擬試験→振り返りとポイント解説					
第4回	ABC検定テキスト過去問題	過去問題から振り返りを行い、模擬試験→振り返りとポイント解説					
第5回	ABC検定テキスト過去問題	過去問題から振り返りを行い、模擬試験→振り返りとポイント解説					
第6回	過去5回の成績発表	グループ対抗で獲得点数を競い、優秀チームを表彰					
第7回	ABC検定テキスト過去問題	過去問題から振り返りを行い、模擬試験→振り返りとポイント解説					
第8回	ABC検定テキスト過去問題	過去問題から振り返りを行い、模擬試験→振り返りとポイント解説					
第9回	ABC検定テキスト過去問題	過去問題から振り返りを行い、模擬試験→振り返りとポイント解説					
第10回	ABC検定テキスト過去問題	過去問題から振り返りを行い、模擬試験→振り返りとポイント解説					
第11回	ABC検定テキスト過去問題	過去問題から振り返りを行い、模擬試験→振り返りとポイント解説					
第12回	過去5回の成績発表	グループ対抗で獲得点数を競い、優秀チームを表彰					
第13回	ABC検定テキスト過去問題	過去問題から振り返りを行い、模擬試験→振り返りとポイント解説					
第14回	ABC検定テキスト過去問題	過去問題から振り返りを行い、模擬試験→振り返りとポイント解説					
第15回	ABC検定テキスト過去問題	過去問題から振り返りを行い、模擬試験→振り返りとポイント解説					
教科書	ABC検定テキスト						
参考書							
成績評価	単位認定 毎回の模擬試験平均得点100点の70%以上						
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)						
オフィス・アワー	授業終了後						

科目名	ABC検定 I		担当者	岡澤	学科	ブライダル科	開講期	後期
区分	必須科目		単位	1	学年	1年	曜日	火
	ブライダル分野(講義)		(時間)	30時間			時限	4
授業の概要	ABCブライダルプランナーテキストを使用しブライダル業界の基本的な仕事に必要な知識の習得。日本および海外のブライダルの基礎を網羅した学習内容。日本においては関連業種、海外においては宗教観の違いなども含め知識を深める。							
学習目的	ブライダル業界に必要とされる一般的な知識を習得し、配席表・進行表を含む基本的なプランニングシートが作成できるようになる。知識の習得の確認として1月に実施される全米ブライダルプランナー協会2級検定の合格を目指す。							
学習目標	反転授業(テキストの予習)の効果的な対策を習得する。ABC検定2級合格							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	欧米編		アメリカンウェディングとは宗教・人種などの特徴について ブライダルパーティの人々の名称について			確認クイズ		
第2回			第4章本番 (聖職者・リハーサルウェディングについて)					
第3回			3つの宗教について 第5章 本番レセプションについて			確認問題		
第4回			第7章 宗教ウエディングについて 基本的な考え方とききたり					
第5回			宗教的な挙式 プロテスタント・ローマカトリック・ユダヤ・非宗教			過去問課題		
第6回			第3章・第6章 準備とコンサルタントの役割					
第7回			英語での名称を覚える。ディストネーションウエディングやダンス・食事について・総復習40分			過去問課題		
第8回	日本編		総復習40分 トレンドの確認 過去問課題に関する質疑応答					
第9回			六輝・熨斗などとききたりについて/日本のさまざまな仕事について					
第10回	総まとめ		日本・欧米共に宗教的部分を中心にまとめ学習をする					
第11回			トレンドの確認・業務(アメリカン)などを中心にまとめ学習をする			冬休み中の課題:過去問		
第12回	直前集中授業		冬休み課題での問題解答・解説。総復習を実施し知識の定着を図る					
第13回								
第14回								
第15回	直前対策授業		ピンスポットで重点的に復習し検定試験に備える					
教科書	ABCプランナー検定協会テキスト							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 2級合格(卒業要件)							
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)・1/12~15日必要に応じて対策特別講座がある							
オフィス・アワー	授業終了後							

科目名	ABC検定 II		担当者	岡澤	学科	ブライダル科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	2年	曜日	金曜
	ブライダル分野(講義)		(時間)	30			時限	2
授業の概要	1年時に学習したABCブライダルプランナーテキストを使用しブライダル業界の実務部分を学習する。実際の業務に求められる能力を高めアシスタントブライダルプランナーの資格を得る。また12～15回には実務実践として、各自がプランニングシートを作成しエレガント又はキュートのテーマでチャペルを演出する。15回には完成披露を行う。							
学習目的	ブライダル業界に必要とされる一般的な知識を習得し、配席表・進行表を含む基本的なプランニングシートが作成できるようになる。就職にしっかりと繋がったその先の業務にも生かしていく。							
学習目標	ABC検定1級合格(アシスタントブライダルプランナー認定)							
回	主題	授業内容				備考		
第1回	日本版①	確認:日本版について						
第2回	日本版②	1年時に学習した内容の日本版の総復習を行う				記述問題:課題		
第3回	日本版③	1年時に学習した内容の日本版の総復習を行う						
第4回	日本版④	1年時に学習した内容の日本版の総復習を行う						
第5回	実務対策②	打ち合わせ実務について。プランニングシートへの落とし込みを外部業者への発注依頼の注意点。				記述問題:課題		
第6回	欧米編	1年時に学習した欧米版の内容の総復習を行う				課題:過去問		
第7回	欧米編	1年時に学習した欧米版の内容の総復習を行う				課題:過去問		
第8回	検定記述対策	記述問題に対して。いくつかのパターンを事前に記述する。						
第9回	重点ポイント	最終確認、各自の課題を克服する						
第10回	検定最終対策	記述問題に対して。いくつかのパターンを事前に記述する。				7月初旬 プランナー1級検定		
第11回	直前対策	2・3日後に控えた検定に対して総まとめとピンポイントに絞った						
第12回	テーマ(エレガント又はキュート)より	各自がテーマにそってプランニングシートを作成する。全員で相談しひとつを選び、13.14・15回においてチャペルを演出する。						
第13回								
第14回	テーマに合わせる	テーマにそくしてチャペル実習室を演出する。最終回では発表を実施する。						
第15回								
教科書	ABCブライダルテキスト(日本・欧米)							
参考書	過去問							
成績評価	単位認定 点以上ABCブライダル検定1級合格 または学内試験60点以上							
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない) ABC検定 1年次1単位修得が前提条件							
オフィス・アワー	授業終了後							

科目名	イベントプロデュース I	担当者	巖	学科	ブライダル科	開講期	後期
区分	必須科目	単位	4	学年	1	曜日	木
	ブライダル分野(実習)	(時間)				時限	1234
授業の概要	ブライダル業務全般を幅広く学び、特に校内で実施するリアルウエディングのカップルを募るためのSNS発信(ブライダル業で一番重要な集客業務)を実際に行う。そしてリアルウエディングにつなげ、より実際に近い婚礼業務を経験し、身につける。						
学習目的	婚礼現場で実際に行われている集客→新規→施工という一連の流れを学び、プランナーとしてのプロデュース力を身につける						
学習目標	リアルウエディングの集客や施工を実際に経験し、成功させる						
授業計画							
回	主題					備考	
1	婚礼現場でのマナーの確認	自己紹介・身だしなみ・返事など					
2	ウエディングの集客方法	講義にて集客の方法を学ぶ					
3	ウエディングのSNS活用の実際と使用注意	SNSの種類やその使用方法で注意すべきこと					
4	校内で実施するリアルウエディングの集客	学内での集客、学外への集客方法を考え、準備を始める。					
5	SNSを利用する方法	アカウントを取得し、実際にどのような広告を出すのか、発信の頻度や注目を集める方法などをプレストする					
6	SNSを利用し集客を始める	ツイッターやインスタなど順番を決め、発信していくスケジュールを考え、グループごとに担当を決める					
7	1週間の発信振り返りを行い、翌週の発信に反映させる	どんな内容が注目を集めたのか、グループごとに検討					
8	ブログの開設を行う	集客の重要な部分を占めるブログを開設し、順番と役割を決め、ブログ発信する準備を行う					
9	自社の会場のメリット・デメリットの研究	他会場と比べ、YICで婚礼をしていただいた場合のメリットやデメリットを考え、強みを見つけ、広告に生かす					
10	他社を知ろう	ベンチマークする会場を分析し、自身の学校の見せ方を工夫する					
11	オンリーワンの商品開発	競合する会社にはないもの、自社の強みにできるオリジナル商品を開発する					
12	商品開発会議	グループに分かれ、あらゆる面から婚礼の強みになる新商品やオリジナル商品を考える					
13	商品開発会議	実際に商品を試作し、見本などを作成する					
14	商品発表と施工	商品をプレゼン発表					
15	振り返りと結果の検討	どのくらいのカップルが来校してくれたのか、SNS発信の難しさ、集客の感想など					
教科書							
参考書							
成績評価	単位認定	期末試験(筆記)50%、実技試験50%					
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)						
オフィス・アワー	授業終了後						

平成30年度 シラバス

科目名	イベントプロデュースⅡ	担当者	柳瀬・岡澤	学科	ブライダル科	開講期	前期
区分	必須科目	単位	4	学年	2	曜日	水
	ブライダル分野(実習)	(時間)				時限	2, 3限
授業の概要	ブライダル企業様での研修と学内でのリアルウエディング						
学習目的	よりブライダル業界を身近に感じ、将来就く仕事を学生時代から体験することで、プランナーとして通用する人間になる。						
学習目標	企業様においては即戦力としてサポート業務が行えるレベル。						
授業計画							
回	主題	授業内容				備考	
1	リアルウエディング	5月12日のリアルに向けスケジュール作成し、具体的準備を始め、リハーサルを繰り返す					
2	リアルウエディング	5月12日のリアルに向けスケジュール作成し、具体的準備を始め、リハーサルを繰り返す					
3	リアルウエディング	5月12日のリアルに向けスケジュール作成し、具体的準備を始め、リハーサルを繰り返す					
4	リアルウエディング	5月12日のリアルに向けスケジュール作成し、具体的準備を始め、リハーサルを繰り返す					
5	リアルウエディング	6月のリアルウエディング準備・スケジュール管理・買い出しなど					
6	リアルウエディング	リハーサルを繰り返し行い、当日のアクシデントに備え、対策を考える。					
7	アワード研究	8月のアワードに向け、5月・6月のウエディングの振り返り					
8	アワード研究	エントリシート作成					
9	リアルウエディング	6月のリアルウエディング準備・スケジュール管理・買い出しなど					
10	リアルウエディング	6月のリアルウエディング準備・スケジュール管理・買い出しなど					
11	リアルウエディング	6月のリアルウエディング準備・スケジュール管理・買い出しなど					
12	リアルウエディング総括	アワードに備え、プレゼンの練習。また、アワード観覧の際のポイントグループごとに考え研究を行う					
13	リアルウエディング総括	アワードに備え、プレゼンの練習。また、アワード観覧の際のポイントグループごとに考え研究を行う					
14	リアルウエディング総括	アワードに備え、プレゼンの練習。また、アワード観覧の際のポイントグループごとに考え研究を行う					
15	期末試験	リアルウエディングについての論文を作成し、提出。					
教科書	ABCプランナー検定協会テキスト 日本版中心に使用(欧米版の一部ある)						
参考書	各講師にて準備のレジユメ等						
成績評価	単位認定		期末試験 60点以上				
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)						
オフィス・アワー	授業終了後						

平成30年度 シラバス

科目名	レストランサービス		担当者	岡澤	学科	ブライダル	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	2	曜日	水
	ブライダル分野(実習)		(時間)	30			時限	1
授業の概要	ビジネスや日常生活におけるしきたりやマナーについて、その必要性、基本を学び、視覚教材（ビデオ、DVD、TV等）を利用し、それらのマナーが実際にどのように生かされているかを知り、シミュレーションや実務作業を通して単なる知識ではなく応用展開が可能な能力をつけられるように授業を進める。ホテル様にご協力を頂き実習を行う。一般のお客様へのサービスも実施する実践的な授業。また最終回にはランチサービスを実行する。							
学習目的	レストランサービスに携わるプロフェッショナルとして身につけるべき基本事項を学び、お客様にレストランの料理だけでなく、ホスピタリティに感動していただくための技能・技術を身につける。							
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人としてビジネスシーンにおける業務遂行を円滑にするためのマナーを学ぶ。 2. ビジネスに必須な手紙、メール、ファックスなどのビジネス文書の基本を身につける。 2. 人間関係をスムーズにするための日常のあらゆるシーンや、冠婚葬祭の時に役に立つマナーについて基本的な知識を得る。 							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	レストランの基礎知識(1) レストランの組織		レストランでは、様々な役割を持つ人が適切に配置されて、指示・命令系統が明確になるよう組織化されている。各担当の業務内容を理解し、チームワークの大切さを学ぶ。					
第2回	レストランの基礎知識(2) 接客の基本		身だしなみ、基本の姿勢と動作、接客用語等、接客するための基本を学ぶ。					
第3回	レストランの基礎知識(3) 西洋料理の食器・備品		西洋料理で使用される食器類(銀器類・陶磁器類・グラス類)の取り扱いと管理、カストラリーやリネンなどを学ぶ					
第4回	レストランの基礎知識(4) 西洋料理の食器・備品		フルコースの流れとナイフフォークの並べ方、ナフキンの様々な折り方を学ぶ					
第6回	レストランの基礎知識(5)		和食、中華などのサービス内容について学ぶ					
第7回	レストランサービスの基本(1) 食前酒・前菜		食前酒の種類、カクテルの基礎知識、前菜の基礎知識とカービングについて学ぶ。					
第8回	レストランサービスの立ち居振る舞い		サービスをする姿だけでなく、お客様のお席までのご案内やお客様への気遣い、気の利いたマナーを覚える					
第9回								
第10回	課外実習 I (報告レポート提出)		レストランサービスの基本を現場のサービスマンから実際に指導を受ける			アランベール様		
第11回	課外実習 (報告レポート提出)		レストランサービスの基本(2) スープとワイン レストランサービスの基本(3) 魚料理と肉料理			アランベールホテル様にて実習 日程未定		
第13回	課外実習 (報告レポート提出)		実際にレストランにてお客様に(YIC職員など)レストランサービスを行う。			アランヴェール		
第14回								
第15回	レストランサービスのまとめ		報告レポートの発表及び研修で得たことなどを発表し検証する					
教科書	レストランサービス トレーニングマニュアル							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 期末筆記 60%+課外授業レポート 40%							
履修のポイント	課外実習先では指導担当者の指示に従うこと。清潔を徹底し、節度ある姿勢で臨むこと。							
オフィス・アワー	授業終了後							

平成30年度 シラバス

科目名	フラワーコーディネイト I		担当者	金山	学科	ブライダル科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	1年	曜日	月
	ブライダル分野(実習)		(時間)	30時間			時限	3
授業の概要	多様化するニーズ。結婚式や披露宴をカラーやフラワーなどをコーディネートするセンスが問われます。演習に欠かせないフラワーアレンジメントの基本の実践と最新のテクニックを学びシーンに花のセレクトや個性の表現を磨きます。ほぼ毎回実習を行うため、各自和ばさみ・ハンドタオル・持ち帰り用袋など持参の事。							
学習目的	シーンやドレスに合ったブーケの提案ができる。イメージに合わせたテーブル装花の提案ができ実践的な場所にて生かしていく。							
学習目標	ブライダルシーンで使用されることの多い花の種類・季節などの基本的な知識の習得。ブーケのスタイルとドレスとのマッチングの提案ができる。アレンジの基本的な技術の習得。終了後、フラワーコーディネイト3級の資格取得する。							
授業計画								
回	主題		授業内容			備考		
第1回	卓上装花(テーブル花① ラウンド)		花の種類・花の水揚げ方法・材料・用具の種類・卓上装花制作実習					
第2回	ブーケ①ラウンド(チュールの作り方)		ブーケの種類・ブーケの花材・ドレスとブーケのバランス ブーケの用具・ブーケの制作実習					
第3回	ブートニア(リボンの作り方)		ブートニアの意味・ワイヤリング・テーピングの手法 ブートニアの制作実習					
第4回	受付花(母の日プードル)		母の日用のアレンジメント・カーネーションでプードルを制作実習					
第5回	ヘアオーナメント		ヘアオーナメントの種類・花選び・ワイヤリング・テーピングの手法・ヘアオーナメントの制作実習					
第6回	ケーキ花(180度のデザイン)		ウェディングに必要な装花を学ぶ・ケーキと一体感のあるフラワーアレンジメント実習					
第7回	卓上装花(テーブル花② ホリゾンタル)		テーブル花の種類・卓上装花の制作実習					
第8回	ブーケ②(束ねるブーケ)		ブーケの種類・スタイル・制作方法・ブーケの制作実習					
第9回	メインテーブルのアレンジメント		ウェディングの装花の種類・デモンストレーション形式の実習					
第10回	季節の花(春夏秋冬)和のアレンジ		和装ウェディングの実習・水引きを使う					
第11回	ブーケ③キャスケード		アートフィッシャルフラワーのワイヤリング・テーピングの手法					
第12回	ブーケ③キャスケード		アートフィッシャルフラワーでブーケの制作実習					
第13回	ウエルカムボード		プリザーブドフラワーでウエルカムボードの制作実習 ブーケのデザイン画・ラフ画実習					
第14回	ウェディング会場を作製		アートフィッシャルフラワーでオリジナルウェディングの制作					
第15回	ウェディング会場を作製		卓上装花・メインテーブル・ブーケ等ウェディング全てのフラワーコーディネイト制作実習					
教科書								
参考書	講師配布資料							
成績評価	単位認定 60 点以上 授業中における作品の提出総合評価・フラワー検定受験は必須とする							
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)							
オフィス・アワー	授業終了後							

科目名	演出クリエイティブ		担当者	平崎・坂	学科	プライタル科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	1	曜日	
	ブライダル分野(実習)		(時間)	時間			時限	
授業の概要	様々なシチュエーションでのスタッフの役割を理解し、挙式セレモニーやウエディングパーティの演出効果として大きなウエイトを占める音楽や照明について学ぶ。イベントプロデューサーと連動し演者・音響・照明(スポット)の3つができるようになる。授業としての発表を夏休み中に行うが、今後も様々なイベントに参加していくベースである。歌・音響・照明の各講師がプロのテクニックを教える。							
学習目的	ブライダル業界で働く際にスタッフとして音響などの業務に携わることができる。イベントなどを実行する際、効果をイメージでき提案することができる。							
学習目標	スポットライトの使い方が理解できる。照明による効果的な演出ができる。マイクのセッティングができる。							
授業計画								
回	主題		授業内容			備考		
第1回	音響の効果		音響設備の基本操作を実施する。入場シーンの音楽をタイミングを合わせてかける練習を行う。好きな歌は何？			7Fスタジオにて実施		
第2回	音響・照明のデモンストレーション		照明による効果デモンストレーションを見よう。プロ技にかかれば心沸き立つシーンを作り出せる。					
第3回	音響・照明 2		基本の操作を練習 2つのグループに分かれる					
第4回								
第5回	音響・照明 3		前回の基本操作を踏まえ、ステージを作ってみる。照明スタッフとステージ出演のグループを入れ替えて互いに実行する。			音楽の準備をして次回に臨む		
第6回								
第7回	ステージイベントの計画		ブライダルシーンにふさわしいステージイベントを計画してみよう。			7月半ばに実施予定		
第8回	音響・照明 4		夏に実施予定のショーを想定した具体的なシーンの練習を行う					
第9回	音響・照明 5		完成度をあげる。イベントの内容に沿った照明のタイミングや技法を学ぶ。			ステージショーに向けて		
第10回								
第11回								
第12回	音響・照明 (披露宴会場)6		完成したステージを披露する。※日程変更の可能性あり					
第13回								
第14回	ステージイベントの実行		オープンキャンパス時に実行する			7月7日に実施予定		
第15回								
教科書	講師のレジュメなど使用							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 授業への参加態度(70%)照明・音響設備の操作ができる(20%)出席率10% 総合評価60点以上							
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	インターシップ I・II		担当者	担任	学科	ブライダル科	開講期	集中	
区分	必須科目		単位	2単位 2単位		学年	1年	曜日	
	ブライダル分野 (実習)		(時間)	60				時限	
授業の概要	ブライダル業界研究で学んでいることを参考にしインターシップの依頼（電話・依頼文作成）、インターシップに参加する前提として、インターシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備学習を行なう。インターシップ終了後は、インターシップを通じて得た知見や経験を体験報告をレポートにまとめ、インターシップ報告書を作成する。交通費等の費用は原則自己負担である。								
学習目的	自分自身の視点から調査・分析出来る能力を身につけ、就職につなげる。自己の職業適性や将来設計について考える機会を得ることにより、高い職業意識の育成を計るとともに、自ら職業選択の明確な基準軸を養成する								
学習目標	現場などで働きながら実務についての知識や経験を積む実務教育。報酬はないが、学内の勉強だけでは得られない体験ができ、現場での就業・実務体験を通して、働くことの意義、働くための資質等を理解し、将来の進路選択に資する経験・見識をつかむ。また、責任感、時間厳守、守秘義務など社会でのルールとして守るべき事項を認識する。 ① 自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験によって高い職業意識が育成する。 ② 実社会に触れることによって、学習意欲が向上する。 ③ 人間性（思いやり、公共心、倫理観）を高め、基本的な生活習慣を身に付ける。								
授 業 計 画									
回	主 題		授 業 内 容				備 考		
第1回	実務研修の心構え		インターシップの目的、参加の心構え、ビジネスマナー講習などを中心に、事前準備学習を行なう。						
第2回	実務研修の依頼		就職を希望する企業・サロンの調査法。インターシップの依頼（電話・依頼文作成）、企業等とのマッチング、日程調整						
第3回	挨拶状・レポート作成		受け入れ企業の決定に基き必要書類などの作成を行いインターシップを有意義なものにする						
第4回	実務研修		受入れ事業所で就業体験（実習日誌）				実働10日公休4日		
第5回									
第6回									
第7回									
第8回									
第9回									
第10回									
第11回									
第12回									
第13回									
第14回	インターシップ報告会		インターシップを通じて得た知見や経験を受講者全員で共有化することを目的に体験報告を行なう。それぞれが就業体験を通じて得たものを自己定着させる。また、体験報告をレポートにまとめ、インターシップ報告書を作成する。						
第15回									
教科書	インターシップリテラシー								
参考書	特にありません								
成績評価	事前研修及び研修状況（50%）、研修後のレポート及び報告会（50%）で評価する。レポートでは、インターシップを通じてその業界で活躍するために身につけなければならないことについて報告させる。定期試験は無し								
履修のポイント	インターシップはキャリア教育科目である。社会人としてのマナーが厳しく問われる。欠席・遅刻、早退は論外である。自覚して臨んでほしい。								
オフィス・アワー									

科目名	ビジネススキルアップ I	担当者	金森	学科	プライダル科	開講期	前期
区分	必須科目	単位	1	学年	1年	曜日	火曜
	ビジネス分野（講義）	（時間）				時限	4
授業の概要	会社とはどのような組織か、そこで行われている仕事はどのような内容かといったことを中心に、速やかに適応するための基礎的な知識やスキルを学ぶ。						
目的	秘書検定3級資格を取得し、ビジネスパーソンとして最低限のマナーを身につける						
学習目標	秘書検定3級合格。社会人になると自己管理や働く目的を持つ必要があることなど、自分の役割を把握して仕事に臨む姿勢を醸成する。						
授業計画							
回	主題	授業内容				備考	
第1回	仕事は正確かつ計画的に	定められた定型業務の手順について学ぶ。					
第2回	定型業務とマニュアル	『定型業務』と『非定型業務』の分類をし、効果的な働き方を学ぶ。					
第3回	効率的・合理的な仕事の進め方	仕事を進める上で、仕事の目的を知るとともに、留意すべき点を学ぶ。					
第4回	会社組織	組織のしくみとシステムの基本的知識を身に付ける。					
第5回	会社の存在意識と株式会社の特徴	会社が存続し発展していくための役割について学ぶ。					
第6回	ビジネス文書の意義と書き方	いま必要とされている文書作成能力を向上するために書き方を学ぶ。					
第7回	社内文書の特徴と基本型	基本的な社内文書の書き方と、基本型を学び、さまざまな種類を知り、理解する。					
第8回	ビジネス文書の意義と書き方	いま必要とされている文書作成能力を向上するために書き方を学ぶ。					
第9回	報告書の書き方	報告書の種類や内容など、ケースに合わせて必要になってくる書き方を学ぶ。					
第10回	社外文書の特徴と基本構成	ビジネス文書の要点を押さえ、あらゆる社内文章を作成する					
第11回	秘書検定3級過去問題	3級合格に向け模擬問題と過去問題を行う					
第12回	秘書検定3級過去問題	3級合格に向け模擬問題と過去問題を行う					
第13回	秘書検定3級過去問題	3級合格に向け模擬問題と過去問題を行う					
第14回	秘書検定3級過去問題	3級合格に向け模擬問題と過去問題を行う					
第15回	秘書検定3級過去問題	3級合格に向け模擬問題と過去問題を行う					
教科書	秘書検定3級						
参考書	秘書検定実問題集3級						
成績評価	単位:60点 以上 試験（70%）・検定（30%）の総合点で60点以上						
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）・秘書検定3級卒業要件						
オフィス・アワー	受検日及び対策講義は日程により変更の可能性あり						

平成30年度 シラバス

科目名	ビジネススキルアップⅡ		担当者	金森	学科	ブライダル科	開講期	前期
区分	必須科目		単位 (時間)	1	学年	2	曜日 時限	火曜
	ビジネス分野(講義)			時間				3
授業の概要	マナーは形式を学ぶことではなく、「思いやり」の気持を表現する方法論のひとつです。その本質を理解した上で、よりよい表現方法を実践を通して学び、大人の女性としての基盤を作ります。							
学習目的	ブライダル業界で特に重要なビジネスマナーを身につけ、社会にでたときにどの現場でも安心して仕事を任せていただける人材を養成する							
学習目標	お客様への正しい対応、ビジネスマナーの基礎知識、慶弔のマナー、上司との関係を良好に保つなど、秘書検定2級範囲を全て理解でき、2級合格を目指す。							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	秘書検定2級対策	ディスカッションを通してなぜマナーが大切かを学ぶ						
第2回	秘書検定2級対策	相手に好感を持たれるあいさつと豊かな表情づくりを、実践を通して体得する						
第3回	秘書検定2級対策	社会人としてのビジネスマナー(のし袋・上書)						
第4回	秘書検定2級対策	身だしなみについて						
第5回	秘書検定2級対策	気の利いた話しかた、相手に対する気遣いの言葉と行動						
第6回	秘書検定2級対策	秘書業務(上司、外出中の対応)						
第7回	秘書検定2級対策	秘書業務(敬語や言葉の使い方)						
第8回	秘書検定2級対策	敬語の使い方						
第9回	秘書検定2級対策	ビジネス用語の知識						
第10回	秘書検定2級対策	来客対応 受付・接客時の言葉使いなど						
第11回	秘書検定2級対策	訪問時のマナー(車など座席の上座下座や食事のマナー)						
第12回	秘書検定2級対策	慶事、弔辞、会社のパーティなどでの業務						
第13回	秘書検定2級対策	仕事の報告や効率的、合理的な仕事進め方						
第14回	秘書検定2級対策	過去問題と答え合わせ→合計得点で可否の診断						
第15回	秘書検定2級対策	過去問題と答え合わせ→合計得点で可否の診断						
教科書	秘書検定							
参考書	秘書検定実問題集2級							
成績評価	単位認定 60 点以上 定期試験60%・秘書検定合格40%							
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)							
オフィス・アワー	授業終了後							

平成30年度 シラバス

科目名	ビジネススキルアップⅢ		学科	ブライダル科	開講期	前期
区分	必須科目		1	学年	1年	曜日
	ビジネス分野（講義）		上川		時限	3
授業の概要	ブライダル業界で必要な美しい手書き文字を身につけ、お客様への手紙、商談でのメモなど、字で信頼をしていただけるよう取り組む					
目的	硬筆書写検定3級受験					
学習目標	硬筆書写4級合格。美しい文字を書く基本を学ぶ。					
授業計画						
回	主題	授業内容			備考	
第1回	オリエンテーション	美しい文字を書く基本。用具テキスト、ドリルなど。4級の概要				
第2回	硬筆ドリル・理論	文書・漢字の基本的な決まり				
第3回	硬筆ドリル・理論	文字のハネ、はらい、角度を学ぶ				
第4回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習				
第5回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習				
第6回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習				
第7回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習				
第8回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習				
第9回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習				
第10回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習				
第11回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習				
第12回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習				
第13回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習				
第14回	硬筆4級受験模擬	硬筆書写検定4級試験を想定し、模試を行う				
第15回	硬筆4級受験模擬	硬筆書写検定4級試験を想定し、模試を行う				
教科書						
参考書						
成績評価	単位認定 60点 以上 試験（50%）・検定（50%）の総合点で60点以上					
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）・硬筆書写4級卒業要件					
オフィス・アワー	受検日及び対策講義は日程により変更の可能性あり					

平成30年度 シラバス

科目名	ビジネススキルアップⅣ		学科	ブライダル科	開講期	前期
区分	必須科目	1	学年	2年	曜日	水
	ビジネス分野（講義）				時限	3
授業の概要	ブライダル業界に必要な美しい手書き文字を身につけ、お客様への手紙、商談でのメモなど、字で信頼をしていただけるよう取り組む					
目的	硬筆書写検定3級受験					
学習目標	硬筆書写3級合格。美しい文字を書く基本を学ぶ。					
授業計画						
回	主題	授業内容			備考	
第1回	オリエンテーション	美しい文字を書く基本。用具テキスト、ドリルなど。3級の概要				
第2回	硬筆ドリル・理論	文書・漢字の基本的な決まり				
第3回	硬筆ドリル・理論	文字のハネ、はらい、角度を学ぶ				
第4回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習				
第5回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習				
第6回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習				
第7回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習				
第8回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習				
第9回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習				
第10回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習				
第11回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習				
第12回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習				
第13回	硬筆ドリル・理論	漢字の基本文字を練習				
第14回	硬筆4級受験模擬	硬筆書写検定3級試験を想定し、模試を行う				
第15回	硬筆4級受験模擬	硬筆書写検定3級試験を想定し、模試を行う				
教科書						
参考書						
成績評価	単位認定	60点以上	試験（50%）・検定（50%）の総合点で60点以上			
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）・硬筆書写3級合格目標					
オフィス・アワー	受検日及び対策講義は日程により変更の可能性あり					

平成30年度 シラバス

科目名	サービス接遇 I		担当者	岡澤	学科	ブライダル科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	1年	曜日	金曜
	ビジネス分野(講義)		(時間)	30時間			時限	1
授業の概要	ブライダル業界で働くにあたり必要な心構えと接客力を身につける、サービス接遇を通し、理解を深める							
学習目的	ブライダル業界で働く楽しさを新郎新婦のコーディネーターなどから感じ取り、それをサポートする接客力を習得する							
学習目標	就職活動や社会人にスムーズになれる言動を身につける。サービス接遇3級、2級合格目標とする							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	サービス接遇検定2級、準1級の趣旨		オリエンテーションと検定要項の確認				毎回問題集の宿題提出	
第2回	おもてなしの理論を学ぶ		3級の要項を確認し、理論実技の出題範囲を把握する				毎回問題集の宿題提出	
第3回	おもてなしの理論を学ぶ		気遣いと感じの良い接客				毎回問題集の宿題提出	
第4回	おもてなしの理論を学ぶ		相手の気持ちに寄り添う話し方、接客法				毎回問題集の宿題提出	
第5回	おもてなしの理論を学ぶ		熨斗のきまり、長寿の祝い、物の数え方の呼び名など				毎回問題集の宿題提出	
第6回	おもてなしの理論を学ぶ		ビジネス専門用語の理解				毎回問題集の宿題提出	
第7回	おもてなしの実技を学ぶ		愛想、愛嬌、大きな声で接客ロープレを行う				毎回問題集の宿題提出	
第8回	おもてなしの実技を学ぶ		野菜の販売をアドリブを用いながら行う(準1級対策)				毎回問題集の宿題提出	
第9回	おもてなしの実技を学ぶ		感じの良い挨拶、受け答え、あいづちの基礎				毎回問題集の宿題提出	
第10回	おもてなしの実技を学ぶ		3級合格のための模擬試験				毎回問題集の宿題提出	
第11回	おもてなしの実技を学ぶ		3級合格のための模擬試験				毎回問題集の宿題提出	
第12回	おもてなしの実技を学ぶ		3級合格のための模擬試験				毎回問題集の宿題提出	
第13回	模擬試験		検定試験直前対策、3級、合格のポイントを押さえる				毎回問題集の宿題提出	
第14回	サービス接遇検定答え合わせ		検定の答え合わせ				毎回問題集の宿題提出	
第15回	サービス接遇検定2級要項を説明		準1級の要項を確認し、最終練習を行う				毎回問題集の宿題提出	
教科書	クイックマスター							
参考書	サービス接遇実問題集							
成績評価	単位認定							
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)サービス接遇準1級ロープレ卒業要件							
オフィス・アワー	授業終了後							

平成30年度 シラバス

科目名	サービス接遇Ⅱ	担当者	岡澤	学科	ライタル	開講期	前期
区分	必須科目	単位	1	学年	1年	曜日	水
	ビジネス分野(講義)	(時間)	30時間				
授業の概要	ブライダル業界で働くにあたり必要な心構えと接客力を身につける、サービス接遇を通し、理解を深める						
学習目的	ブライダル業界で働く楽しさを新郎新婦のコーディネーターなどから感じ取り、それをサポートする接客力を習得する						
学習目標	就職活動や社会人にスムーズになれる言動を身につける。 サービス接遇3級卒業要件						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	サービス接遇検定とは？	オリエンテーションと検定要項の確認				毎回問題集から宿題	
第2回	おもてなしの理論を学ぶ	3級振り返り				毎回問題集から宿題	
第3回	おもてなしの理論を学ぶ	気遣い				毎回問題集から宿題	
第4回	おもてなしの理論を学ぶ	相手の気持ちに寄り添う話し方、接客法				毎回問題集から宿題	
第5回	おもてなしの理論を学ぶ	熨斗のきまり、長寿の祝い、物の数え方の呼び名など				毎回問題集から宿題	
第6回	おもてなしの理論を学ぶ	準1級ロープレ実習				毎回問題集から宿題	
第7回	おもてなしの実技を学ぶ	準1級ロープレ実習				毎回問題集から宿題	
第8回	おもてなしの実技を学ぶ	準1級ロープレ実習				毎回問題集から宿題	
第9回	おもてなしの実技を学ぶ	感じの良い挨拶、受け答え、あいづちの基礎				毎回問題集から宿題	
第10回	おもてなしの実技を学ぶ	2級合格のための模擬試験				毎回問題集から宿題	
第11回	おもてなしの実技を学ぶ	2級合格のための模擬試験				毎回問題集から宿題	
第12回	おもてなしの実技を学ぶ	2級合格のための模擬試験				毎回問題集から宿題	
第13回	模擬試験	検定試験直前対策、2級合格のポイントを押さえる				毎回問題集から宿題	
第14回	サービス接遇検定答え合わせ	準1級ロープレ実技					
第15回	期末試験	筆記					
教科書	クイックマスターb						
参考書	サービス接遇実問題集						
成績評価	単位認定						
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)サービス接遇準1級ロープレ卒業要件						
オフィス・アワー	授業終了後						

平成30年度 シラバス

科目名	プレゼンテーション・ディベート学		担当者		学科	ブライダル科	開講期	後期
区分	ビジネス分野（講義）	選択科目	単位	1 単位	学年	1	曜日	火曜
		必須	(時間)	30			時限	2
授業の概要	プレゼンテーション能力の養成・向上を目指して、基本的な知識を修得し、さまざまな場面で自分の考えをしっかりと相手に伝える積極的な意思表示ができるようになる。							
学習目的	プレゼンテーションを行なうために必要な基本的な事柄を学ぶ。プレゼンテーションの意義・目的、内容、進め方、ツールの活用など、基礎を学ぶと同時に、話し方などの口頭表現、身体表現を中心とした演習を行なう。							
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 論理的に物事を考えられるようになること 2. 限られた時間の中で、自分の考えが効果的に述べられるようになること 3. 聞き手に感動を与えるような話しかたができるようになること 							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	プレゼンテーションとは		プレゼンテーションの種類と定義について					
第2回	コミュニケーションとプレゼンテーション		コミュニケーションとプレゼンテーションの違いについて					
第3回	プレゼンテーションの目的		紹介のプレゼンテーション					
第4回	プレゼンテーション準備と流れ1		聞き手の分析や目的の明確化					
第5回	プレゼンテーション準備と流れ2		プラン作成やツールについて					
第6回	聴衆に好感を持たれる話し方の基本		聴衆に好感を持たれる話し方の基本を学ぶ					
第7回	バーバル表現		聴衆に好感を持たれる態度、演出法					
第8回	ノンバーバル表現		聴衆に好感を持たれる態度、演出法					
第9回	身近なプレゼンテーション		スピーチ・フリートーク					
第10回	ディベート理論		インタビューをしてみよう					
第11回	ディベート基礎		会議と司会をしてみよう					
第12回	ディベート基礎		学校生活について話してみよう					
第13回	ディベート演習		グループワーク					
第14回	発表に向けてのリハーサル							
第15回	プレゼンテーション発表と振り返り							
教科書	テキストは毎回配布							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 プレゼンテーション課題提出							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

科目名	マナー プロトコール		担当者	鶴田理絵	学科	ブライダル科	開講期	後期
区分	必須科目 ブライダル分野(講義)		単位 (時間)	1 30時間	学年	2年	曜日 時限	
授業の概要	国際的な基本マナーであるプロトコールなど、マナーに関する知識の幅を広げる。また、国際化社会においても普遍的に要求される、論理的に表現する力を養成する。各回演習を行う。							
学習目的	国際化により発生する多様な場面に対応するための、基礎的な国際儀礼に関する知識を得る。また、社会人として必要なコミュニケーション力の基礎として、論理的で、わかりやすい文章を書く力をつける。							
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 7月10日実施のマナー・プロトコール検定3級取得 国際化社会で活躍する社会人に必要とされるプロトコール(国際儀礼)の基礎知識を身につける ビジネス文書にとって必要なわかりやすさを実現するために、読み手にとって読みやすい文章が書けるようになる 							
授業計画								
回	主題		授業内容				備考	
第1回	オリエンテーション 主語と述語を近づける、相手を敬う表現を正しく使う		本科目の学習目標を知る 明快で尊敬語・謙譲語・丁寧語を正しく使用した文章を作成する					
第2回	修飾・被修飾関係をはっきりさせる・適切な指示代名詞を使う		情景や細やかな心情を表現するために必要な修飾語表現を学ぶ					
第3回	効果的に接続詞を使う・語尾を統一する		適切に接続詞を入れることで、文と文をつないで、文章を整理し読みやすくする					
第4回	一文を短くする・一文には1つの事柄だけを入れる		要領を得た、わかりやすい文章にするために、短い文章を作成する					
第5回	助詞「の」の連続使用は2回までにする・二重否定を避ける		単調な、またあいまいな印象を与える言葉の重複使用を避ける					
第6回	事実と推測を区別する		事実と推測を区別することで読み手の誤解を防ぐ					
第7回	理解しやすい構成にする		読み手が即座に全体像を把握できる構成にする					
第8回	国際プロトコールの基本		国際化社会において必要とされる、外交上のマナーやしきたりを学ぶ					
第9回	食事のマナー		各国料理のテーブルマナーについて学ぶ					
第10回	冠婚葬祭と贈答のマナー		日本の、特に葬しきたりと贈り物・お返しルールを学ぶ					
第11回	社会人に必要なマナー振り返り		他科目で修得した社会人として必要なマナーについて、マナー・プロトコール検定試験前に振り返る					
第12回	論理的な文書をつくる(1) 企画書		簡潔でわかりやすいビジネスEメールを書くコツを学ぶ					
第13回	論理的な文書をつくる(2) メール文		簡潔でわかりやすいビジネスEメールを書くコツを学ぶ					
第14回	論理的な文書をつくる(3) 議事録		情報共有を目的とした議事録において必要な要素を学ぶ					
第15回	まとめ							
教科書	マナープロトコール検定認定テキスト							
参考書	新聞・漢字検定問題集等 必要に応じ講師にて準備指示							
成績評価	単位認定 60点以上 期末試験(60%)・マナー・プロトコール検定3級合格(20%)・授業内で行う演習の完成度(20%)							
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)							
オフィス・アワー	授業終了後							

平成30年度 シラバス

科目名	セールスプロモーション		担当者	岡澤	学科	ブライダル科	開講期	
区分	必須科目		単位	1	学年	2年	曜日	
	ビジネス分野(講義)		(時間)				時限	
授業の概要	結婚式のセールス分野に特化し、新規接客スキルを身につける							
学習目的	新規接客を一人でアイスブレイクからクロージングまで行えるようになる							
学習目標	婚礼の新規接客を新入社員レベルまで出来るようになる							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	ガイダンス		新規接客で必要なこと					
第2回	婚礼セールスの基本		感じの良い挨拶、マナー、名刺の渡し方					
第3回	婚礼ヒアリングシートの内容		カップルの情報をつかむヒアリングシートの見方					
第4回	婚礼成約申し込み書と規約の内容		正式申込書の内容と、規約の内容を知る					
第5回	ウエディング打ち合わせのスケジュール		招待状から当日までの打ち合わせの流れの把握					
第6回	当日のスケジュールを知る		当日の流れを把握					
第7回	婚礼セールスの基本		新規接客の順序 アイスブレイクとは					
第8回	婚礼セールスの基本		ヒアリングとは					
第9回	婚礼セールスの基本		クロージングとは					
第10回	正式申込書の書き方		署名と規約の関係					
第11回	新規接客ロープレ		ロープレ予選					
第12回	新規接客ロープレ		ロープレ準準決勝					
第13回	新規接客ロープレ		ロープレ準決勝					
第14回	新規接客ロープレ		ロープレ決勝					
第15回	まとめ		振り返り					
教科書	ABC検定テキスト(日本版)							
参考書	レジュメなど							
成績評価	単位認定 60 点以上 ロープレ実技点+期末試験 60点以上							
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)							
オフィス・アワー	授業終了後							

科目名	基本IT技術 I		担当者	吉野	学科	ブライダル科	開講期	前期
区分	必須科目		単位	1	学年	1年	曜日	月
	ビジネス分野(講義)		(時間)	30時間			時限	1
授業の概要	企業においてパソコンでの事務処理は必須である。授業内ではワードにてチラシ(案内)が作成できる。2年で習うコンピュータ映像の授業にスムーズに入ってブライダル業界でのセンスある映像加工ができるように学習する。							
学習目的	きらりと光るセンスあるチラシ(案内)などが作成でき、事務処理が滞りなく行える社会人を目指す。パワーポイントが作成できプレゼンができる人材になる。							
学習目標	ワードにて写真やイラストを入れたA4リーフレットが作成できる。パワーポイントの作成方法を理解し5枚程度のシートが作成できる。							
授業計画								
回	主題	授業内容					備考	
第1回	パソコンルームの使用法とWord基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンルームの使用上の注意事項について ・自己紹介 ・キータイピング(パソコンレベルチェック) 						
第2回	Word基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を与えて、指定時間内にキータイピングする。 ・課題を与えて、ビジネス文書(罫線活用)を作成する。 ・印刷設定を理解する。 					作成した課題データを提出させる。	
第3回	Word基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を与えて、指定時間内にキータイピングする。 ・課題を与えて、ビジネス文書(イラスト、ワードアート挿入)を作成する。 					作成した課題データを提出させる。	
第4回	Word基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を与えて、ビジネス文書(罫線、イラスト、ワードアート挿入)を45分間で作成できるようにする。 					作成した課題データを提出させる。	
第5回	Word基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を与えて、ビジネス文書(罫線、イラスト、ワードアート挿入)を45分間で作成できるようにする。 					作成した課題データを提出させる。	
第6回	Word基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を与えて、ビジネス文書(罫線、イラスト、ワードアート挿入)を45分間で作成できるようにする。 					作成した課題データを提出させる。	
第7回	Word応用	<ul style="list-style-type: none"> ・広告デザインのレイアウトについて理解し、作成する。 					作成した課題データを提出させる。	
第8回	Word応用	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を与えて、広告デザインを練習する。 ・簡単な名刺の作成方法を理解し、作成する。 					作成した課題データを提出させる。	
第9回	Word応用	<ul style="list-style-type: none"> ・名刺の作品を作成する。 ・簡単なPOPやチラシの作成方法を理解する。 					作成した課題データを提出させる。	
第10回	Word応用	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単なPOPやチラシ作成の練習をする。 					作成した課題データを提出させる。	
第11回	Word応用	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を与えて、A4リーフレットを作成する。 						
第12回	Word応用	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を与えて、A4リーフレットを作成、完成させる。 					作成した課題データを提出させる。	
第13回	PowerPoint基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・操作方法を理解する。 ・プレゼンテーション技法を理解する。 						
第14回	PowerPoint応用	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な課題を与えて、5枚程度のシートを作成する。 						
第15回	PowerPoint応用	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な課題を与えて、5枚程度のシートを作成し、完成させる。 					作成した課題データを提出させる。	
教科書								
参考書	九州文化出版「CS技能評価試験ワープロ部門3級受験対策練習問題集」、日本語情報処理検定協会ホームページ「文書デザイン検定」過去問題、グラフィック社「レイアウトの基本ルール」、成美堂出版「Wordでできる！POP&チラシイラスト素材集」、実教出版「30時間でマスター プレゼンテーション+PowerPoint2010」、ソーテック社「パワポで簡単 企画書&プレゼンデザイン」							
成績評価	単位認定	60点以上	基本は課題の提出により採点する。理解する為出題した演習問題は、基準を設け減点法により採点する。					
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)							
オフィス・アワー	授業終了後							

平成30年度 シラバス

科目名	基本IT技術Ⅱ		担当者	吉野	学科	ブライダル科	開講期	後期
区分	必須科目		単位	1	学年	1年	曜日	火
	ビジネス分野(講義)		(時間)	30時間			時限	2
授業の概要	企業においてパソコンでの事務処理は必須である。授業内ではエクセルを使用しての基本的な実務書類(顧客データ管理、表作成、請求書作成)が作成できる。							
学習目的	パワーポイントで作品を作成し、プレゼンができるようにする。事務処理(顧客データ管理、表作成、請求書作成、グラフ作成)が滞りなく行える人材になる。							
学習目標	パワーポイントを活用して、プレゼン用資料として8枚以上のシートを作成できる。関数を用いた表計算や罫線表示、検索・置換、並べ替え、グラフ作成ができる。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	PowerPoint応用		・課題を与えて、8枚程度のシートを作成する。					
第2回	PowerPoint応用		・課題を与えて、8枚程度のシートを作成する。					
第3回	PowerPoint応用		・課題を与えて、8枚程度のシートを作成し、完成させる。				作成した課題データを提出させる。	
第4回	Excel基礎		・表計算で文字・数字入力、セルの書式設定(フォント、配置、表示)、セル、行・列の操作を理解する。				演習課題を提出させる。	
第5回	Excel基礎		・計算式(四則演算、相対参照、絶対参照)、表の作成、検索、置換、オートフィルタ、並べ替え、印刷設定を理解する。				演習課題を提出させる。	
第6回	Excel基礎		・計算式(四則演算、相対参照、絶対参照)、表の作成、検索、置換、オートフィルタ、並べ替え、印刷設定を理解する。				演習課題を提出させる。	
第7回	Excel基礎		表計算で関数(SUM、AVERAGE、オートSUM)を理解する。				演習課題を提出させる。	
第8回	Excel基礎		表計算で関数(COUNT、COUNTA、TODAY、NOW、ROUND)を理解する。				演習課題を提出させる。	
第9回	Excel基礎		・表計算で関数(IF)を理解する。				演習課題を提出させる。	
第10回	Excel基礎		・表計算で関数(VLOOKUP)を理解する。 ・見積書や請求書が作成できる。				演習課題を提出させる。	
第11回	Excel基礎		・グラフの作り方を理解する。				演習課題を提出させる。	
第12回	Excel基礎		・グラフの作り方を理解する。				演習課題を提出させる。	
第13回	Excel基礎		・課題を与えて、表やグラフを完成させる。				演習課題を提出させる。	
第14回	Excel基礎		・課題を与えて、表やグラフを完成させる。				演習課題を提出させる。	
第15回	Excel基礎		・課題を与えて、表やグラフを完成させる。				演習課題を提出させる。	
教科書								
参考書	九州文化出版「CS技能評価試験表計算部門3級受験対策練習問題集」							
成績評価	単位認定	60点以上	基本は課題の提出により採点する。理解する為出題した演習問題は、基準を設け減点法により採点する。					
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)							
オフィス・アワー	授業終了後							

平成30年度 シラバス

科目名	トータルビューティ基礎学 I		担当者	広瀬	学科	ブライダル科	開講期	後期
区分	必須科目		単位	2	学年	1年	曜日	火曜
	トータルビューティ分野(講義)		(時間)	60時間			時限	2
授業の概要	ブライダルにおける美容の基礎知識を身につける							
学習目的	人体の構造、皮膚科学、公衆衛生、化粧品化学等の基礎知識を身につける							
学習目標	美容の基礎知識の習得							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回 第2回	皮膚の構造		皮膚の構造について					
第3回 第4回	皮膚の構造		皮膚の構造について					
第5回 第6回	皮膚の構造		皮膚の構造について					
第7回 第8回	肌と老化の関係		肌と老化から生まれるトラブルについて					
第9回 第10回	肌と老化の関係		肌と老化から生まれるトラブルについて					
第11回 第12回	肌と老化の関係		肌と老化から生まれるトラブルについて					
第13回 第14回	毛髪の構造		毛髪の構造について					
第15回 第16回	毛髪の構造		毛髪の構造について					
第17回 第18回	化粧品化学		化粧品化学の基礎知識について					
第19回 第20回	化粧品化学		化粧品化学の基礎知識について					
第21回 第22回	公衆衛生		美容に必要な公衆衛生の知識について					
第23回 第24回	公衆衛生		美容に必要な公衆衛生の知識について					
第25回 第26回	まとめ		まとめ、復習					
第27回 第28回	まとめ		まとめ、復習					
第29回 第30回	まとめ		まとめ、復習					
教科書								
参考書	理容美容保健/物理・化学/衛生管理 日本理美容教育センター							
成績評価	単位認定 期末考査60点以上							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	色彩学		担当者	亀田	学科	ブライダル科	開講期	後期
区分	必須科目		単位	1	学年	1年	曜日	月
	トータルビューティ分野(講義)		(時間)	30			時限	1
授業の概要	色は生活の様々な分野にかかわっている。色彩に関する基本的なことを学習し人の心理面にどのような働きかけをすればいいのかを知り効果的に使用していく。色の分類・効果・演出と体系的に学習していく。							
学習目的	テキストやカラーチャートなどを使用して色彩の分類・効果的な選択ができるようになる。パーソナルカラー分析を行い目安としてパーソナルカラー検定3級を受験する。さらにブライダルにおいて会場やテーブル・衣裳などの選択の選択の感性を磨く							
学習目標	パーソナルカラー検定3級合格							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	色彩学とは		色彩学を学ぶ意義について					
第2回	四季の自然を表わす色		春／夏／秋／冬に関わる色について					
第3回	日本の色の歴史		特徴的な伝統色					
第4回	色と生活		周りを取り巻く様々な色、衣食住					
第5回	色の種類		赤・橙・黄・緑・青・紫・白黒・グレー系統					
第6回	色の仕組み		物体色と光源色、無彩色と有彩色					
第7回	CUS表色系		カラーアンダートーンシステム					
第8回	色の三属性と対比現象		明度・彩度・色相					
第9回	色の感情効果		明度・彩度・色相に関する心理効果					
第10回	cus配色効果		アンダートーンとは					
第11回	ファッション概論		基本的な配色テクニック					
第12回	ブライダルと色彩		ウエディングと配色調和					
第13回	パーソナルカラー		肌色のしくみ					
第14回	パーソナルカラーの特徴		人の特徴によるアンダートーン パーソナルカラー					
第15回	検定対策		パーソナルカラー3級検定試験対策					
教科書	パーソナルカラリスト検定3級公式テキスト							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 パーソナルカラリスト検定3級合格 又は ※学内試験60点以上							
履修のポイント	出席率80%以上（原則として補講は行わない）							
オフィス・アワー	授業終了後							

平成30年度 シラバス

科目名	ブライズメイクヘア		担当者	広瀬	学科	ブライダル科	開講期	後期
区分	必須科目		単位	1	学年	2年	曜日	
	トータルビューティ分野 (実習)		(時間)				時限	
授業の概要	即戦力として活用できる着付とブライダル業界実務							
学習目的	ブライダルにおけるヘア・メイク・着付けなどの知識や技術を習得すること							
学習目標	ブライダルの基礎知識の習得/専門用語の意味を学ぶ/ブライダルを身近に考える							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回 第2回	トータル・ヘアメイク	技術チェック。相モデルで骨格やパーツなどの補正						
第3回 第4回	トータル・ヘアメイク	相モデル30分フルメイク カウンセリングとアップスタイル2パターン						
第5回 第6回	トータル・ヘアメイク	相モデル30分フルメイク 和装と洋装のメイクの違い						
第7回 第8回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、前回とは違うペアで、 オーダー通りにヘアメイクを仕上げる						
第9回 第10回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、前回とは違うペアで、 オーダー通りにヘアメイクを仕上げる アテンドの知識						
第11回 第12回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、前回とは違うペアで、 花嫁の特殊なオーダー通りにヘアメイクを仕上げる						
第13回 第14回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、洋装→和装のヘアメイクの クイックチェンジを行う						
第15回 第16回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、洋装→和装のヘアメイクの クイックチェンジを行う						
第17回 第18回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、洋装→和装のヘアメイクの クイックチェンジを行う						
第19回 第20回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、洋装→和装のヘアメイクの クイックチェンジを行う						
第21回 第22回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、洋装→和装のヘアメイクの クイックチェンジを行う						
第23回 第24回	トータル・ヘアメイク	相モデルで、洋装→和装のヘアメイクの クイックチェンジを行う						
第25回 第26回	トータル・ヘアメイク	オープンキャンパスにて発表会実施						
第27回 第28回	トータル・ヘアメイク	作品制作						
第29回 第30回	トータル・ヘアメイク	作品制作						
第31回 第32回	トータル・ヘアメイク	作品制作						
教科書								
参考書								
成績評価	単位記作品の提出							
履修の ポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス ・アワー	随時							

科目名	着付け・作法		担当者	福井	学科	ブライダル科	開講期	後期
区分	必須科目		単位	2	学年	1年	曜日	金曜
	トータルビューティ分野(実習)		(時間)	60			時限	1・2
授業の概要	浴衣の着付けから始め留袖の着付けで練習をしていく。帯結び(お太鼓・飾り結び)が数種できるように実践的な授業。和装の名称を覚える							
学習目的	ブライダルの現場ではお直しや留袖の着付けを求められことも多いが対応することができるようになる。							
学習目標	浴衣が自分で着られる。留袖(お太鼓結び)が楽に着せることができる。チェック項目にのっとって美しく着せられる。立ち振舞いの所作ができる。							
授業計画								
回	主題		授業内容			備考		
第1回	浴衣を着る①		和室でのあいさつ・着物のたたみ方・名称					
第2回	浴衣を着る②		自分で浴衣を着る練習					
第3回	浴衣を着る③		浴衣の着付け・相モデル					
第4回	浴衣を着る④		自分で浴衣を着る練習・浴衣の着付け・相モデル					
第5回	留袖の名称と下着までの着付け		基本的な着物の着方を学ぶ1回目・着物の名称・末広・襟の合わせ方・肌着・足袋をつける・長襦袢着付け			ブライダル検定(テキスト内容)の確認		
第6回	留袖の着付け		長襦袢着付け・留袖着付け(相モデル)					
第7回	留袖の帯結び①		帯結びの基本としてお太鼓の結び方(相モデル)					
第8回	留袖の帯結び②		帯結びの基本としてお太鼓の結び方(相モデル)					
第9回	留袖の帯結び③		帯結びの基本としてお太鼓の結び方(相モデル)					
第10回	付け下げ着付け・帯結び①		二重太鼓変り結び					
第11回	小紋着付け・帯結び②		文庫系飾り結び					
第12回	留袖の着付け(着付けから帯結びまで)		留袖着付け・お太鼓					
第13回	自分で着られる・結べる(浴衣)		着物での立ち振舞いも習得する					
第14回	着てみよう(浴衣)		夏休みOC浴衣ディの日に自分で着る(ヘアアレンジ)					
第15回	時間を測って(留袖)		指導員の指定する時間内に着つけられるようになる					
教科書	美容技術理論2							
参考書								
成績評価	単位認定 浴衣着付け・留袖着付けの実技試験60点以上							
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)							
オフィス・アワー	授業終了後							

科目名	メイクアップ基礎	担当者	渡辺	学科	ブライダル	開講期	前期
区分	必須科目	単位	2単位	学年	1年	曜日	木
	トータルビューティ分野(実習)	(時間)	60			時限	1.2
授業の概要	<座学>皮膚科学、顔の成り立ち～顔分析、ゴールデンプロポーションについて、色彩学、道具の名称～使いこなしなど <実技>クレンジング～ベースメイク作成、ポイントメイクの楽しさを知る						
学習目的	人の顔に触れることに慣れる。美容師としての、基礎的なメイク理論・技術の修得。お客様に対する気配りや心遣いを学ぶ。						
学習目標	JMA3級取得。 またお客様を美しくすることを目的にしたメイク・言動を身につける						
授業計画							
回	主題	授業内容				備考	
第1回	授業の進め方・道具のチェック&手入れ法	授業を受ける際の注意事項・道具の点検と道具の手入れ方法を説明					
第2回	美人ポイントメイク&筆の使い方	ゴールデンプロポーションとセルフメイク・筆の使い方					
第3回	道具の置き方・身だしなみ・スキンケアのデモ	道具セッティング・身だしなみチェック・スキンケアの一連の流れ					
第4回	ポイントクレンジング	ウイッグを使ったポイントクレンジングの練習					
第5回	全体クレンジング	ウイッグを使った全体クレンジングの練習&復習					
第6回	ポイント&全体クレンジング	相モデルでポイント&全体クレンジング練習					
第7回	全体クレンジング	相モデルにてレッスン					
第8回	ポイントクレンジング～乳化	ポイントクレンジング～乳化まで相モデル練習					
第9回	化粧水	ウイッグを使った拭き取り練習・これまでの復習					
第10回	ポイントクレンジング～拭き取り	ポイントクレンジング～拭き取りまで相モデル練習					
第11回	化粧水	ウイッグを使った化粧水の練習&これまでの復習					
第12回	ポイントクレンジング～化粧水	ポイントクレンジング～化粧水まで相モデル練習					
第13回	ベーススプレッド	ウイッグを使ったベーススプレッド・これまでの復習					
第14回	ポイント～ベーススプレッド	ポイント～ベーススプレッドまで相モデル練習					
第15回	スキンケア通し練習	ウイッグを使ってこれまでの復習&採点のポイント					
第16回	クレンジング～スキンケア	相モデルで通し練習					
第17回	ベースメイク(自分の顔で)	コントロールカラー・ファンデーション・コンシーラー					
第18回	クレンジング～コンシーラー	相モデルでクレンジング～コンシーラーまでメイク					
第19回	ベースメイク(自分の顔で)	フェイスパウダー・ハイライト・モデリング・ニュアンス				出来が良ければ	
第20回	クレンジング～ベースメイク完成	相モデルでクレンジング～ベースメイク完成				※ナチュラルメイク眉	
第21回	筆記試験対策①顔の成り立ち	教科書説明&問題集					
第22回	クレンジング～ベースメイク完成	相モデルでクレンジング～ベースメイク完成				※ナチュラルメイクアイメイク	
第23回	筆記試験対策②顔の分析	教科書説明&問題集					
第24回	クレンジング～ベースメイク完成	相モデルでクレンジング～ベースメイク完成				※ナチュラルメイクリップ	
第25回	筆記試験対策③色彩学	教科書説明&問題集					
第26回	クレンジング～ベースメイク完成	相モデルでクレンジング～ベースメイク完成				※ナチュラルメイクチーク	
第27回	筆記試験対策④準備物と順序	教科書説明&問題集					
第28回	クレンジング～ベースメイク完成	相モデルでクレンジング～ベースメイク完成				※ナチュラルメイク・フル	
第29回	イメージメイク実践	習得した基礎を踏まえて自分にあうイメージメイクを学ぶ					
第30回							
教科書	JMA日本メイクアップ技術検定協会テキスト3級						
参考書							
成績評価	単位認定： JMA検定試験合格・または定期試験60点以上(検定が全員合格の場合は定期試験は実施しない)・						
履修のポイント	出席率80%以上 補講は行わない						
オフィス・アワー	授業終了後						

平成30年度 シラバス

科目名	ネイル基礎		担当者		学科	ブライダル	開講期	後期
区分	トータルビューティ分野		単位	3	学年	2年	曜日	火
	必須		(時間)				時限	1~3
授業の概要	ネイル基礎知識・ネイルケア・カラーリング・検定アート 検定3級対策							
学習目的	ベーシックなネイルの技能と知識の基礎を習得 JNECネイリスト技能検定3級受験							
学習目標	7月 JNECネイリスト技能検定試験3級 受験							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	初回授業説明 理論		教材配布・検品・テーブルセッティング ネイル概論					
第2回	ネイルケア基礎		消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論					
第3回	ネイルケア基礎		消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論					
第4回	ネイルケア基礎		消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論					
第5回	ネイルケア基礎		ネイルケア・カラーリング・カラーオフ ネイル概論					
第6回	ネイルケア基礎		ネイルケア・カラーリング・カラーオフ 小テスト					
第7回	ネイルケア基礎		ネイルアート					
第8回	ネイルケア基礎		ネイルケア・カラーリング・カラーオフ ネイル概論					
第9回	ネイルケア基礎		ネイルアート					
第10回	検定対策		3級対策					
第11回	検定対策		3級対策					
第12回	検定対策		3級対策					
第13回	検定対策		ネイルアート					
第14回	検定対策		ネイルアート					
第15回	検定対策		ネイルアート					
教科書 参考書	JNAテクニカルシステム（ベーシック）							
成績評価	単位認定 60 点以上		小テスト（20%）模擬検定（20%）課題提出（10%）期末テスト（実技・筆記） （50%）授業態度を加味して成績評価を行う 又JNECネイリスト技能検定試験3級合格を目指す					
履修の ポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。							
オフィス ・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	ヘアアレンジⅠ	担当者	山本	学科	ブライダル科	開講期	前期
区分	必須科目	単位	1単位	学年	1年	曜日	金曜
	トータルビューティ分野（実習）	（時間）	30			時限	2
授業の概要	ウィッグ使用の実技中心となる。						
学習目的	就職活動～卒業後の現場でのセルフヘアセット技術の習得。 イベントや実技試験で必要となるアレンジ技術の習得を目指す。						
学習目標	人頭でのアレンジを実現できる。自身の夜会巻が完璧にできる。ショートの場合はすっきり見え顔にかからないアレンジ						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	基礎知識	道具類の配布 道具類の種類と使用法・頭部の名称・黒ゴムの前準備					
第2回	身だしなみの為のアップスタイル	・自分で出来るアップスタイル・夜会巻き					
第3回	身だしなみの為のアップスタイル	・自分で出来るアップスタイル・夜会巻き					
第4回	基礎技術（基礎1）	基礎技術を修得する					
第5回	基礎技術（基礎2）	・ブラッシング・ピンニング・ホットカーラの巻き方 ・毛髪調整（スタイリング剤の使い方）					
第6回	基礎技術（基礎3）	・各種タポの作り方・根止め（土台）の作り方 ・ゴムの結び方・逆毛（バックコーミング）の技法					
第7回	基礎技術（基礎4 一束）	一束にまとめる（・すき毛あり・すき毛なし等）					
第8回	基礎技術（基礎5 サイド）	サイドのまとめ方（・ひねり上げ・ねじり上げ等					
第9回	基礎技術（基礎5 フロント）	フロントのまとめ方（・ポンパドール・各パート分け等）					
第10回	編み込み 基礎技術 根元からしっかり編む基本法	基本の毛束の持ち方と指使いを修得 ・表編み・裏編み・ロープ編み・フィッシュボーン					
第11回	編み込み 基礎技術 基本技法で編み込む	各セクションより髪をすくい取り編み込んでいく ・片側表三つ編み込み・両側表編み込み					
第12回	編み込み 基礎技術 基本技法で編み込む	各セクションより髪をすくい取り編み込んでいく ・片側裏三つ編み込み・両側裏編み込み					
第13回	アップスタイルの作製	編み込みのアップスタイルの作製					
第14回	アップスタイルの作製	編み込みのアップスタイルの作製					
第15回	期末テスト対策	編み込みを取り入れたオリジナルアップスタイル作製					
教科書							
参考書							
成績評価	単位認定 60 点以上 期末テストの実技得点から授業態度により加点方式を取り入れる。						
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない						
オフィス・アワー	随時						

平成30年度 シラバス

科目名	ビジネス基礎力学		担当者	小森・澤・飛田	学科	プライタル科	開講期	前期
区分	選択科目		単位	1	学年	1年	曜日	水
	ビジネス分野(講義)		(時間)				時限	1
授業の概要	国語、数学、社会をトータルで学ぶ							
学習目的	基礎学力をつけ、社会に必要なトータルの学力を身につける。また就職試験の筆記に備える							
学習目標	各教科の中学卒業学力を備える。高校受験問題、SPI問題など、就職試験に必要な基礎学力を修得する							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	基礎国語	漢字、敬語など					小森先生	
第2回	基礎国語							
第3回	基礎国語							
第4回	基礎国語							
第5回	基礎国語							
第6回	基礎数学	平均値、割引額など					澤先生	
第7回	基礎数学							
第8回	基礎数学							
第9回	基礎数学							
第10回	基礎社会	時事ニュースなど						
第11回	基礎社会							
第12回	基礎社会							
第13回	基礎社会							
第14回	基礎社会							
第15回	3学科期末試験							
教科書	講師レジュメ							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 期末試験60%以上、各教科まとめテスト40%							
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)							
オフィス・アワー	授業終了後							

科目名	ビジネス電話応対	担当者	金森	学科	ブライダル科	開講期	前期
区分	選択選択	単位	1	学年	2年	曜日	
	ビジネス分野（講義）	(時間)				時限	
授業の概要	ビジネス電話基礎B級の試験対策、ビジネス電話の常識を理解し、社会に出て恥ずかしくない電話応対を学ぶ						
学習目的	社会で通用するビジネスの電話力を身につける。						
学習目標	ビジネス電話検定基礎B級の合格						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	理論	ビジネス電話と一般の電話の違い					
第2回	理論	ビジネス電話を受けるとき、かけるときの5W1H					
第3回	理論	メモの残し方、話方について					
第4回	理論	感じの良い電話応対とは					
第5回	理論	電話応対時のケース練習					
第6回	実技	留守電や外出時の電話のかけ方					
第7回	実技	ビジネス敬語を把握し、電話にて敬語を使う意味を知る					
第8回	実技	気の利いた電話の対応					
第9回	実技	声の明るさと電話の印象を考える					
第10回	過去問題	検定の過去問題に取り組み合格に向け、模試を行う					
第11回	過去問題	検定の過去問題に取り組み合格に向け、模試を行う					
第12回	過去問題	検定の過去問題に取り組み合格に向け、模試を行う					
第13回	過去問題	検定の過去問題に取り組み合格に向け、模試を行う					
第14回	クレーム電話	ビジネス電話のクレーム事例					
第15回	まとめ	検定の振り返り					
教科書	ビジネス電話検定 実問題集						
参考書							
成績評価	単位認定 期末テスト60点以上 並びに 電話検定合格 基礎B級は卒業要件						
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない						
オフィス・アワー	随時						

科目名	ブライダルサロン		担当者	岡澤	学科	ブライダル科	開講期	前期
区分	選択科目		単位	2	学年	1	曜日	月
	ブライダル分野(実習)		(時間)	30時間			時限	3, 4
授業の概要	サロンの運営方法とお客様への接遇をトータルで学ぶ							
学習目的	サロンで仕事をする際に、すぐに動ける新人として働けること							
学習目標	サロンの受付、応対、お客様への接遇がスムーズに出来る。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	オリエンテーション		自己紹介					
第2回	サロンの成り立ち		サロンとは？ブライダルサロンの成り立ち					
第3回			※詳細後日					
第4回								
第5回								
第6回								
第7回	挙式とサロン		サロンを知る					
第8回	挙式とサロン		サロンの仕組みとその役割					
第9回	サロンのシュミレーション		模擬挙式の運営					
第10回	サロンのシュミレーション		模擬挙式の準備					
第11回	サロンのシュミレーション		模擬挙式の準備					
第12回	サロンのシュミレーション		模擬挙式のリハーサル					
第13回	運営管理		模擬挙式のリハーサル					
第14回	運営管理		模擬挙式の最終リハーサル					
第15回	振り返り		リアルウエディングのお客様との打ち合わせ					
教科書	レジュメ							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上							
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)							
オフィス・アワー	授業終了後							

平成30年度 シラバス

科目名	サロン運営	担当者		学科	ブライダル科	開講期	
区分	選択科目	単位	2	学年	1	曜日	
	ブライダル分野(実習)	(時間)	30時間				
授業の概要	ブライダルサロンの運営を実際に行い、広告を学ぶ						
学習目的	ブライダル営業について理解を深め、新規営業が出来るようになる						
学習目標	ブライダルプランナーとしての新規営業獲得						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	オリエンテーション	サロンの実際					
第2回	リアルウエディングについて	リアルウエディングの広告					
第3回	※詳細後日						
第4回							
第5回							
第6回							
第7回	ブライダルのサロン運営法	リアルウエディングのサロン運営法					
第8回	サロン運営と新規の関係	新規接客とは？					
第9回	ブライダルプランナーの心構え	プランナーとは？必要なスキル					
第10回	新規営業の実際	新規営業の実際を学び、ロープレを行う					
第11回	広告媒体研究	広告を研究					
第12回	プランナーの立ち居振る舞い	プランナー立ち居振る舞いロープレ					
第13回	パンフレットの扱い方	婚礼パンフの取り扱い					
第14回	パンフレットの研究	婚礼パンフの研究					
第15回	振り返り	振り返り・期末試験					
教科書	レジュメ、ABC検定テキスト						
参考書							
成績評価	単位認定 60 点以上						
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)						
オフィス・アワー	授業終了後						

科目名	キャリアデザイン		担当者		学科	ブライダル科	開講期	前期
区分	選択科目		単位	1	学年	2年	曜日	金曜
	ビジネス分野(講義)		(時間)	30時間			時限	3
授業の概要	各自の就職活動が円滑に進むよう担当教員がアドバイスなどを適時行う。エントリーをした企業への履歴書の記入や自己アピールなど具体的に指導する。自分の目標を見失うことなく就職先企業を決めていく作業を行う。個人ワーク、グループワーク形式。小テストにて理解度確認。							
学習目的	就職先企業を決まった後も今後仕事を長くできるよう企業に求められる人材へと自己研鑽する。							
学習目標	自分に合った就職先の内定を受ける。就職先への挨拶文などの書類作成ができる。							
授業計画								
回	主題		授業内容			備考		
第1回	現状の報告・今後の活動予定確認 応募書類・提出書類の書き方		各人が春休み中などに就職活動した事など含め進捗状況を報告する。 履歴書を完成させる。学校への提出書類確認。			HR教室		
第2回	面接DVD		グループディスカッション所作を学ぶ。			HR教室		
第3回	面接DVD		グループ面接所作を学ぶ。			HR教室		
第4回	面接DVD		個人面接所作を学ぶ。			HR教室		
第5回	企業研究・自己分析 模擬面接(グループ面接)		志望先絞込み・自己PR作成・ 模擬面接(グループ)			HR教室 小テスト①		
第6回	企業研究・志望動機作成 模擬面接(個人面接)		志望先絞込み・志望動機作成・よく出る質問例対策 模擬面接(個人)			HR教室 小テスト②		
第7回	グループディスカッション 小論文・エントリーシート		グループディスカッション 小論文の書き方 エントリーシート作成			HR教室 小テスト③		
第8回	SPI・筆記対策		SPI・筆記対策			HR教室 小テスト④		
第9回	グループディスカッション実技Ⅰ (模擬ブライダル)		全員で斬新なアイデアを出し合い、企画する。 企画書作成。			PC教室(256)		
第10回	グループディスカッション実技Ⅱ (模擬ブライダル)		全員で斬新なアイデアを出し合い、企画する。 企画書作成。			PC教室(256)		
第11回	グループディスカッション実技Ⅲ (模擬ブライダル)		企画書作成。 最後に発表。			PC教室(256)		
第12回	企業講話		ブライダル業界の方の講話 業界の方のお話を聴く事で、業界で働く為の意識を高める			HR教室 小テスト⑤		
第13回	夏休み中の活動確認		内定の出ている場合は、内定先と他の企業の比較 活動中の場合は、今後の活動予定作成 「報告書」の書き方			HR教室 小テスト⑥		
第14回	夏休み中の活動報告		「報告書」を完成させ、発表			HR教室 小テスト⑦		
第15回	働く上で必要なスキルを学ぶ		「ビジネスに必要な8つの意識」について考える。 今、自分はどの部分が足りないかを検証する。			HR教室 小テスト⑧		
教科書								
参考書								
成績評価	単位認定 60点以上 一般常識(小テスト出題の中より)							
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)							
オフィス・アワー	授業終了後							

平成30年度 シラバス

科目名	フィニッシング	担当者		学科	ブライダル科	開講期	
区分	選択科目	単位	1	学年	2年	曜日	時限
	ブライダル分野	(時間)					
授業の概要	美しい所作を身につけると同時にお客様へのおもてなしを体現できる人間になる						
学習目的	立ち方・座り方・お辞儀、お茶の給仕、茶たく、懐紙などの扱いを知る						
学習目標	全般的な動作を美しく、優雅なものへ変化させる。						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	ガイダンス	フィニッシングとは					
第2回	立ち方・座り方・お辞儀の仕方	美しい所作を体得					
第3回	お茶の出し方・入れ方	日本茶・紅茶の入れ方、提供の仕方					
第4回	物の扱い方	両手での受け渡しや、高い場所から物を取るとき					
第5回	車の乗り降りや配席のマナー	車や電車、お座敷などの配席の決まり					
第6回	美しい言葉使い	相手を思いやるクッション言葉、違和感のない敬語					
第7回	美しい歩き方、足のそろえ方	ポーズや歩き方を整える					
第8回	水引の種類・のし袋のマナー	冠婚葬祭のマナー					
第9回	笑顔レッスン	美しい表情と笑顔を学ぶ					
第10回	第一印象	自分の第一印象を映像で見ることで、第一印象を考える					
第11回	仕事の進め方	報告、連絡、相談の伝え方や言い回し					
第12回	職場での人間関係を円滑にする態度	自分のことだけを考えるのではなく、相手への配慮を学ぶ					
第13回	階段やエスカレーター・エレベーターの誘導	階段やエスカレーター、エレベーターのお客様の案内方法					
第14回	トータルで全ての言動を実習	学んできた事柄をテストで振り返る					
第15回	振り返り	総まとめ					
教科書	講師レジュメや動画資料						
参考書							
成績評価	単位認定	60	点以上	小テスト	50%	+	期末試験
履修のポイント							
オフィス・アワー	授業終了後						

平成30年度 シラバス

科目名	メイクセラピー	担当者	福本	学科	ブライダル科	開講期	後期
区分	選択科目	単位	2単位	学年	1年	曜日 時限	水 3、4
	トータルビューティ分野（実習）	(時間)	60				
授業の概要	花嫁様の披露宴での心理的なストレスを和らげるメイクセラピーの技術を身につける。						
学習目的	メイクセラピスト2級合格を目指し、セラピストの知識として花嫁様に傾聴・アドバイスができる						
学習目標	メイクセラピスト2級合格						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1週	メイクセラピーの意味	オリエンテーション					
第2週	メイクセラピーにおける顔の成り立ち	円心・求心					
第3週	メイクセラピーにおける顔の成り立ち	円心・求心が他人から見た時の印象					
第4週	自分の顔分析	相モデルにて顔の分析					
第5週	アイシャドーなどの使い方	円心・求心をどのように矯正するか					
第6週	カラーが人に与える印象	色の効果や光の効果					
第7週	カラーの効果	カラーが人に与える印象、その使い方					
第8週	印象分析	印象をコントロールし自分のコンプレックスを克服する					
第9週	傾聴の意味	クライアントの話の聴き方。その動作や実際の動き					
第10週	心理学の基本的な知識	罪悪感など人間の心理を学び、クライアントの軽重ができる					
第11週	リップやチーク、アイシャドウの色の持つ効果	リップ・アイシャドー・チークなど色の使い方での印象管理					
第12週	メイク実習	メイクセラピーの実習（メイク）					
第13週	メイク実習	メイクセラピーの実習（メイク）					
第14週	試験直前模試	筆記とメイク実習					
第15週	期末試験	全体の期末試験					
教科書	メイクセラピー検定2級対策テキスト						
参考書							
成績評価	単位認定 60 点以上メイクセラピスト検定2級合格30%＋期末試験70%の 総合計点にて評価						
その他 履修の ポイント	出席率80%以上（原則として補講は実施しない）						
オフィス ・アワー	授業終了後						

平成30年度 シラバス

科目名	ブライズエステ	担当者	荒木	学科	ブライダル科	開講期	後期
区分	選択科目	単位	2単位	学年	1年	曜日	月曜
	トータルビューティ分野(実習)	(時間)	60			時限	3、4
授業の概要	花嫁を最高に輝かせる為に今やブライダルエステをする人も多い。ドレス選びの際に肩やデコルテをマッサージするだけで瞬時に引き立つこともある。ブライダル業界人としてエステの効果を説明できること、簡単なマッサージができることは武器になる。授業は理論と実技を並行して行う。実技はハンド・デコルテを相モデルで、フェイスはセルフで実施する。上達度を確保するために、適宜チェックテストを行い、知識やテクニックを確実なものとするようにする。						
学習目的	美容知識のベースとなる、人体の基本的構造を理解し、知識を身につけ幅広く活用できるようになる。人に触れる施術を行うことで、接客する上での心遣い、気配り、相手を思いやる気持ちを育む。						
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 解剖生理学の基礎 骨 筋肉 皮膚 消化器 内分泌 神経 を理解する 健康や美しさを維持するための基本知識やマッサージを習得する 						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1週	ブライダルエステとは 社会ニーズ エステティック実技の事前準備の説明 フットケアについて	<ul style="list-style-type: none"> エステティックにおけるブライダルコースの位置づけ、コース内容、価格、社会的ニーズを理解する ホットタオルの作り方・ワゴンセット・ベッドセット フットケアの方法を覚える 					
第2週	エステティックの歴史 セルフフットマッサージについて	<ul style="list-style-type: none"> エステティックの起源や歴史について理解する セルフフットマッサージを習得する 					
第3週	皮膚の構造① 気になる二の腕を細くするマッサージの習得① 細い指先をつくる 細い二の腕をつくるハンドマッサージ	<ul style="list-style-type: none"> ホメオスタシス(恒常性)を理解し正しいダイエット知識を理解する 上腕の軽擦、8点ブッシュ、手のひら、ストレッチ、脇のリンパを流す【右】 					
第4週	皮膚の構造① 気になる二の腕を細くするマッサージの習得② 細い指先をつくる 細い二の腕をつくるハンドマッサージ	皮膚の役割と基礎知識 表皮、真皮、皮下組織について特徴・働きを理解する <ul style="list-style-type: none"> 上腕の軽擦、8点ブッシュ、手のひら、ストレッチ、脇のリンパを流す【左】 				小テスト実施	
第5週	皮膚の構造② 気になる二の腕を細くするマッサージの習得③ 細い指先をつくる 細い二の腕をつくるハンドマッサージ	<ul style="list-style-type: none"> 皮膚の付属器について理解する 汗腺・皮脂腺・毛・爪 上腕の軽擦、8点ブッシュ、手のひら、ストレッチ、脇のリンパを流す【左右】 					
第6週	皮膚トラブル① 腕マッサージチェックテスト	<ul style="list-style-type: none"> にきびの原因 発生過程 改善法を理解する シミの原因 発生過程 改善法を理解する 腕マッサージの習得度を確保 					
第7週	皮膚トラブル② 肩マッサージの習得①	<ul style="list-style-type: none"> 肌の乾燥の原因 発生過程 改善法を理解する アトピー性皮膚炎の原因 発生過程 改善法を理解する 僧帽筋マッサージの習得 軽擦法 強擦法 					
第8週	栄養素について 肩マッサージの習得②	<ul style="list-style-type: none"> 3大栄養素、ビタミン、ミネラル 基礎代謝 カロリー 僧帽筋マッサージの習得 切打法 指圧法 				小テスト実施	
第9週	ホルモンについて 頸部マッサージの習得①	<ul style="list-style-type: none"> 女性ホルモンについて学ぶ 頸部マッサージの習得 軽擦法 					
第10週	自律神経について 頸部マッサージの習得②	<ul style="list-style-type: none"> 交感神経 副交感神経の働きを理解する 頸部マッサージの習得 軽擦法 					
第11週	ストレス耐性について フェイシャルセルフマッサージ①	<ul style="list-style-type: none"> ストレスとは何か 発生の過程を学びストレスコントロールに役立てる 正しいクレンジング法について学ぶ 					
第12週	女性の身体について フェイシャルセルフマッサージ②	乳腺解剖学を学ぶ 女性器、妊娠、出産 <ul style="list-style-type: none"> 顔のむくみ解消のマッサージを習得する 				小テスト実施	
第13週	カウンセリング 1 フェイシャルセルフマッサージ③	カウンセリングについて学ぶ (ペアになりカウンセリングの方法・注意点を学ぶ) <ul style="list-style-type: none"> 顔のたるみ解消のマッサージを習得する 					
第14週	カウンセリング 2 各種マッサージの技術チェック	<ul style="list-style-type: none"> お客様の悩みを解消するアドバイスを考える お客様が納得して実施しようと思えるアドバイスを考える 各種マッサージの技術チェック 					
第15週	筆記試験 総合問題 実技試験 腕 肩 頸部マッサージ	筆記試験 総合問題 実技試験 腕 肩 頸部マッサージ					
教科書							
参考書	適宜プリント配布とする A4のプリントがはさめるファイルを用意する事 各自フェイスタオル4枚用意する事						
成績評価	単位認定 60 点以上 15週目筆記試験得点(40点)+15週目実技試験(30点実技)+小テスト3回分得点30% 上記にて成績評価とする 期末試験期間中には試験を実施しない						
その他	<ul style="list-style-type: none"> 配布した資料を毎回の授業に必ず持参すること。 爪を短くしておくこと。 クレンジングの練習がある日はメイクをしたうえで授業に参加すること。(ノーメイクだとクレンジングの練習にならないため) 						
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない) 理論に関しては必ず復習を行ってから受講をする事						
オフィス・アワー	授業終了後						

平成30年度 シラバス

科目名	ブライダルアロマ	担当者		学科	ブライダル科	開講期	
区分	選択科目	単位	1	学年	2年	曜日	
	ブライダル分野	(時間)				時限	
授業の概要	ブライダルに重要な場の空気・雰囲気をご提案できる						
学習目的	アロマの香りと効果を体系的に理解し、活用できる						
学習目標	ウエディングシーンに合うアロマをお客様にご提案できる						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	ガイダンス	アロマとは					
第2回	アロマの歴史	アロマの現在までの歴史を振り返る					
第3回	アロマの使い方	効用を知り、その内容について把握する					
第4回	アロマの使い方	効用を知り、その内容について把握する					
第5回	アロマの使い方	効用を知り、その内容について把握する					
第6回	アロマの応用	芳香剤の作成					
第7回	アロマの応用	バスボムの作成					
第8回	香りとブライダルの関係	結婚式で効果的な香りを考える					
第9回	花嫁と香りの関係	プレ花嫁、おめでた婚など花嫁と香りの効果					
第10回	アロマ検定対策	アロマ生成から応用まで					
第11回	アロマ検定対策	アロマの種類とその応用					
第12回	アロマ検定対策	アロマの種類とその応用					
第13回	アロマ検定対策	アロマの種類とその応用					
第14回	アロマ検定対策	アロマの種類とその応用					
第15回	アロマ検定対策	アロマの種類とその応用					
教科書							
参考書							
成績評価	単位認定	60	点以上	アロマ検定2級合格60%+期末試験40%			
履修のポイント							
オフィス・アワー	授業終了後						

平成30年度 シラバス

科目名	ブライダル映像基礎	担当者		学科	ブライダル科	開講期	
区分	選択科目 ブライダル分野	単位 (時間)	1	学年	2年	曜日 時限	
授業の概要	ブライダルの映像について学び、お客様に説明できるレベルになる						
学習目的	ウエディングシーンにおける映像の作成やその効果、動画などを利用した演出など学ぶ						
学習目標	ウエディングシーンの映像商品を説明、案内し魅力的にセールスできる技術とその内容を理解する						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	ガイダンス	ブライダル映像の種類など					
第2回	記録撮影とは、エンドロールとは	ブライダル映像を見てディスカッション					
第3回	プロフィールビデオとオープニングムービーとは	プロフィールビデオとオープニングムービーを見てディスカッション					
第4回	映像の重要性と歴史	映像の重要性と写真との違い、その価値。ここまでの変遷とこれからの映像の可能性					
第5回	動画を作成してみよう	動画を作成してみよう					
第6回	動画を作成してみよう	動画を作成してみよう					
第7回	動画を作成してみよう	動画を作成してみよう					
第8回	作成したムービーを全員で観覧し、ディスカッション	作成したムービーを全員で観覧し、ディスカッション					
第9回	作成したムービーを全員で観覧し、ディスカッション	作成したムービーを全員で観覧し、ディスカッション					
第10回	実際のオープニングムービーや動画を視聴	現代のムービーのトレンドを知る					
第11回	日本とアメリカの比較	日本とアメリカの動画を比較し、その違いを考える					
第12回	日本とアメリカの比較	日本とアメリカの動画を比較し、その違いを考える					
第13回	映像会社のカメラマンからレクチャー	動画を取る際に気を付けることや、お客様とのコミュニケーション、効果的な動画の作成方法					
第14回	映像会社のカメラマンからレクチャー	動画を取る際に気を付けることや、お客様とのコミュニケーション、効果的な動画の作成方法					
第15回	振り返り	総まとめ					
教科書	講師レジュメや動画資料						
参考書							
成績評価	単位認定	60	点以上	毎回の授業への参加姿勢50%+期末試験50%			
履修のポイント							
オフィス・アワー	授業終了後						

科目名	イラストデッサン		担当者		学科	ブライダル科	開講期	後期
区分	選択科目		単位	1	学年	2年	曜日	月
	ブライダル分野(講義・実習)		(時間)	30時間			時限	1
授業の概要	鉛筆の削り方・持ち方・描き方・構図などデッサンの基本を習得し、人の顔やスタイルなどスケッチ的なスタイル画へと発展させる。イラストやデザインなど表現・提案するための基礎を学ぶ。							
学習目的	イメージを可視化し提案する基礎技術を習得する。							
学習目標	デッサンの基礎からコーディネート表現性の高める技術の基礎を担う。							
授業計画								
回	主題		授業内容			備考		
第1回	ガイダンス		鉛筆の削り方・持ち方・描き方・構図など					
第2回	デッサン基礎		モチーフを用いて「静物デッサン」を描く。					
第3回	デッサン基礎							
第4回	イラスト・デザイン基礎		「クロッキー」を用いイラストの基本・レイアウトの基本を習得しPOPなどの作成					
第5回	イラスト・デザイン基礎							
第6回	花のアレンジ画		モチーフを用いて静止画を描く。					
第7回	花のアレンジ画							
第8回	スタイル画基礎							
第9回	スタイル画基礎		「模写」と「トレース」により人の顔のバランス理解する。また全身のバランスを理解しながら、ドレスなどの描き方を習得する。					
第10回	スタイル画基礎							
第11回	会場構図		パースなど理解し立体的な会場空間の描き方などを描く。					
第12回	会場構図							
第13回	卒業制作		課題に沿って作品を完成させる。					
第14回	卒業制作							
第15回	卒業制作							
教科書	公益財団法人 日本理容美容教育センター ヘアスタイル画によるトータルファッション 2016年7月5日発行 他							
参考書								
成績評価	単位認定 60点以上 授業毎の作品と卒業制作の提出により採点する。							
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)							
オフィス・アワー	授業終了後							

平成30年度 シラバス

科目名	ブライダル広告研究	担当者		学科	ブライダル科	開講期	
区分	選択科目	単位	1	学年	2年	曜日	
	ブライダル分野	(時間)				時限	
授業の概要	ブライダルの広告は多岐に渡っている、ゼクシィのみならず、SNS広告、HP、ウエディングマルシェなど。その広告の効果や利用方法を知り、それらを有効に使えるプランナーになる。						
学習目的	ブライダル広告の利用方法や効果を知り、それを使いこなせるプランナーになる。						
学習目標	ウエディングプランナーとして広告スキルを身につけ、使いこなす。						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	ウエディング広告とは	各種媒体を知る					
第2回	実際の広告を研究	グループであらゆるウエディング広告を研究					
第3回	ブライダル広告の歴史	今までのブライダル広告を調べ、その当時の効果を考える					
第4回	ブライダル広告の現在	現在、どのような広告があり、どのくらいの効果があるのか					
第5回	ブライダル広告のコスト	広告にかかるコストとは？またそれを利用し、どのくらいの効果があるのか？を知る					
第6回	ブライダル広告の実際	リクルートの方に来校いただき、お話を伺う					
第7回	テレビ広告、マスコミ広告	マスコミに露出している会場などを知る					
第8回	SNS広告	ツイッター、フェイスブック、インスタなど					
第9回	SNS広告	それぞれの媒体のアカウントを取得しリアルウエディングの集客につなげる					
第10回	SNS広告	それぞれの媒体のアカウントを取得しリアルウエディングの集客につなげる					
第11回	SNS広告	それぞれの媒体のアカウントを取得しリアルウエディングの集客につなげる					
第12回	広告写真の重要性	どの様な写真がお客様の心をつかむのかを学ぶ					
第13回	学校のチャペルやドレス、着付け室の写真撮影	グループごとに担当を決め、魅力的な写真を撮影					
第14回	学校のチャペルやドレス、着付け室の写真撮影	グループごとに担当を決め、魅力的な写真を撮影					
第15回	総まとめ	広告の実際を振り返り、語句など確認していく					
教科書	レジュメ						
参考書							
成績評価	単位認定 60 点以上		授業への参加度30%＋期末試験70%				
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)						
オフィス・アワー	授業終了後						

平成30年度 シラバス

科目名	フラワーコーディネートⅡ		担当者	染川	学科	ブライダル科	開講期	前期
区分	選択科目		単位	1	学年	2	曜日	火
	ブライダル分野(実習)		(時間)	30時間			時限	3
授業の概要	多様化するニーズ。結婚式や披露宴をカラーやフラワーなどをコーディネートするセンスが問われます。1年時に学習したフラワーアレンジの技術をベースにあらにシーンや個性に合わせ提案できる最新のテクニックを学ぶ実践的授業。ほぼ毎回実習を行うため、各自和ばさみ・ハンドタオル・持ち帰り用袋など持参の事。							
学習目的	シーンやドレスに合ったブーケの提案ができる。イメージに合わせたテーブル装花の提案ができ実践的な場所にて生かしていく。							
学習目標	ブライダルシーンで使用されることの多い花の種類・季節などの基本的な知識の習得。ブーケのスタイルとドレスとのマッチングの提案ができる。アレンジの基本的な技術の習得。							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	卓上装花(テーブル花① ラウンド)	花の種類・花の水揚げ方法・材料・用具の種類・卓上装花制作実習						
第2回	ブーケ①ラウンド(チュールの作り方)	ブーケの種類・ブーケの花材・ドレスとブーケのバランス ブーケの用具・ブーケの制作実習						
第3回	ブートニア(リボンの作り方)	ブートニアの意味・ワイヤリング・テーピングの手法 ブートニアの制作実習						
第4回	和のアレンジ	3回にわたり和の花の種類・テーブルアレンジ等和風の魅力的な見せ方について学ぶ						
第5回								
第6回								
第7回	卓上装花(テーブル花② ホリゾンタル)	テーブル花の種類・卓上装花の制作実習						
第8回	ブーケ②(束ねるブーケ)	ブーケの種類・スタイル・制作方法・ブーケの制作実習						
第9回	メインテーブルのアレンジメント	ウェディングの装花の種類・デモンストレーション形式の実習						
第10回	季節の花(春夏秋冬)和のアレンジ	和装ウェディングの実習・水引きを使う						
第11回	ブーケ③キャスケード	アートフィッシャルフラワーのワイヤリング・テーピングの手法						
第12回	ブーケ③キャスケード	アートフィッシャルフラワーでブーケの制作実習						
第13回	ウェルカムボード	ブリザーブドフラワーでウェルカムボードの制作実習 ブーケのデザイン画・ラフ画実習						
第14回	ウェディング会場を作製	アートフィッシャルフラワーでオリジナルウェディングの制作						
第15回	ウェディング会場を作製	卓上装花・メインテーブル・ブーケ等ウェディング全ての フラワーコーディネート制作実習						
教科書	検定テキスト							
参考書	講師配布資料							
成績評価	単位認定 60 点以上 授業中における作品の提出総合評価・フラワー検定受験は必須とする							
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)							
オフィス・アワー	授業終了後							

科目名	実務研修		担当者	学科	ブライダル科	開講期	後期
区分	選択科目		単位	学年	2年	曜日	木
	ブライダル分野		(時間)			60時間	時限
授業の概要	基本的な案内の方法や正しい敬語、ビジネスの場に求められる立ち振舞いを身につける。ブライダル科で学ぶ集大成として模擬挙式・披露宴を実施。						
学習目的	基本的な挙式を実行することができる。披露宴の計画を立てることができる。						
学習目標	場にふさわしい服装・話し方・行動がとれる。円滑なチームプレーがとれ業務を遂行することができる。						
授業計画							
回	主題	授業内容				備考	
第1回	ガイダンス(イメージの共有)	模擬挙式のオリジナルテーマ・カラーを決める ボードにイメージコンセプトを貼り付け制作。				予算1万円程度	
第2回	リストアップ	必要な物・人をリストアップし、調達先・制作を決める。ドレスを決める。					
第3回	役割分担	当日の進行・音響・照明など。事前準備のフラワー制作・会場設営など担当を決め準備を進める。					
第4回	練習①	フラワー・会場設営完了・ペーパーアイテム準備。進行セリフの練習 新婦・ブライズメイズ 衣装とヘアの決定					
第5回	練習②	タイムスケジュールに従って各役割行動する。通し練習。課題を話し合いアイデアを出し解決する。					
第6回	練習③	通し練習。会場への案内も想定し実行する。					
第7回	発表	1時限目に準備・最終リハーサル 2限目に発表と課題反省会					
第8回	披露宴の入場時シーン	245教室を使って入場シーンをを行う。音楽の決定。ドアオープンのタイミングを合わせキャプテン先導する。				予算1万円程度	
第9回	ケーキカットシーン	ケーキの制作およびケーキ回りのテーブルをコーディネートする。音楽・スポットの練習・司会コメントを各自作成する					
第10回	乾杯までの練習 余興の決定	今までのシーンを練習する パーティーでの演出のアイデアを出し決定する					
第11回	色直し 余興の練習	色直し(ドレスの決定・ヘアメイクの練習) 前回決めた余興2〜3組程度の練習を行う					
第12回	これまでのシーンの練習	色直し後の入場シーンを中心に練習し盛り上げていく方法をみんなで考え実施する。					
第13回	花束贈呈シーン	花束又は記念品の制作。音楽を決める。花嫁の手紙はどうするか・・・アイデアを出しまとめていく。					
第14回	通し練習	全員で時間を意識しながら1限でシーンごとの練習。2限で通し練習					
第15回	発表する	披露宴を実施する					
教科書							
参考書							
成績評価	単位認定 60 点以上 授業への取り組み・出席状況を総合的に評価						
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)						
オフィス・アワー	授業終了後						

平成30年度 シラバス

科目名	ウエディングプランナー演習	担当者	岡澤	学科	ブライダル科	開講期	
区分	選択科目	単位	1	学年	2年	曜日	
	ブライダル分野	(時間)				時限	
授業の概要	グッドアワードウエディングの視察準備、視察の実際						
学習目的	リアルウエディングの総括とグッドウエディングアワードへのエントリーをすることで実際のプランナーのスキルを身につける						
学習目標	グッドアワードウエディングの視察をすることで実際のプランナー実務を知り、自身の今後の成長、就活につなげる						
授業計画							
回	主題	授業内容				備考	
第1回	ガイダンス(イメージの共有)	グッドウエディングアワードとは？					
第2回	エントリーシートの作成	リアルウエディングを振り返り、エントリーシートを書く				リクルート様来校	
第3回	エントリーシートの作成	リアルウエディングを振り返り、エントリーシートを書く				グループディスカッション	
第4回	プレゼン練習	上位8位に選ばれた際のプレゼン練習					
第5回	当日の流れの確認	上位8位に選ばれた際のプレゼン練習、当日の注意点伝達					
第6回	東京視察	あらゆるブライダル企業が集まる会場になるため、集団行動と身だしなみ、挨拶は徹底すること。上位8位に選ばれた場合は、代表者だけでなく、全員で応援する気持ちを持つこと。				1泊2日研修	
第7回							
第8回							
第9回							
第10回							
第11回							
第12回							
第13回							
第14回							
第15回							
教科書	講師レジュメ						
参考書							
成績評価	単位認定 60 点以上 授業への取り組み・出席、チームへの参加度合い50%宿題の論文点数50%						
履修のポイント	出席率80%以上(原則として補講は実施しない)						
オフィス・アワー	授業終了後						

2018 ブライダル科 シラバス

発行 YIC京都ビューティ専門学校

発行日 平成30年 4月 1日

編集 学校法人京都中央学院

〒600-8236 京都市下京区油小路通塩小路下る西油小路町 27 番地

TEL 075-371-4040 FAX 075-343-3821

本便覧の複写および無断転載を禁ずる。